

会長のページ	臨床研修指導医のためのワークショップ	河野 雅行	3
日 州 医 談	勤務環境改善支援センターと医師の働き方改革	池井 義彦	4
新 春 随 想(その2)			6
	河原 勝博, 山村 善教, 中川 秀人, 串間 美昭, 堀之内和代 國枝 良行, 玉置 昇, 南嶋 洋一, 山口 和正, 竹之内 剛 坂田 師通, 関 良二, 小池 弘幸, 長沼弘三郎, 細川 和義 友成 久雄, 吉村 学, 佐藤 信博, 池田 龍二, 大塚康二郎 天野 正宏		
エコー・リレー(522)		西村 賢人, 甲斐 恭子	21
メディアの目	3度目の亥年の選挙イヤー	伊賀 透浩	27
宮崎大学医学部だより(感染症学講座 免疫学分野)		佐藤 克明	30
宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員名簿(医科)			65
診療メモ	古くて新しい『脂質異常症』の話		
	～心血管カテーテル治療医から見た脂質異常症診療～	松浦 広英	66
宮大医学部学生のページ	部活動紹介 ～卓球部～	坂口 岳彦	70

表彰・祝賀		22
宮崎県感染症発生動向		24
あなたできますか?(平成29年度医師国家試験問題より)		26
郡市医師会だより		28
医師会立看護学校担当理事連絡協議会		32
ベストセラー		33
日医インターネットニュースから		34
医師国保組合だより		36
理事会日誌		37
県医の動き		43
会員の異動・変更報告		44
ドクターバンク情報		45
行 事 予 定		51
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		53
あ と が き		74

お知らせ	宮崎県医療勤務環境改善支援センター	31
	女性医師の皆様へ	42
	日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	49
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	63
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	64
	第19回宮崎県医師会医家芸術展	68
	日本医師・従業員国民年金基金のご案内	69
	郡市医師会への送付文書	72

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品:写真〕

出発

梅と受験祈願で有名な太宰府天満宮です。受験生のみならず、新社会人として新天地に赴く人も参詣しています。最近は外国人が非常に多くなっています。

人それぞれの新しい出発を祈願してます。空には、飛行機雲、新しい出発する人もいます。

宮崎市 にし むら あつ のり
西 村 篤 乃

会長のページ

臨床研修指導医のためのワークショップ

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

平成30年12月15日～16日 シーガイアにて県内での13回目のワークショップ（WS）が開催されました。県内では既に400名超の先生方が、WSを終えて県内各地で卒後研修医指導に当たられています。研修を更に充実するために平成28年から研修病院事務担当者にも参加をお願いしています。本年度は34名の先生方と10名の事務担当者に参加していただきました。

昨年新専門医制度が始まり宮崎県は37名と全国最下位で、本年度は少し増えましたがまだまだです。しかし、平成31年度の研修医マッチングは61名あり、2年後に期待が持てます。このWSは初期研修並びに専門医研修までを充実させるために重要視されています。小松教授・金丸常任理事を中心に佐賀大学の応援や医師会事務局の協力を得ての開催です。年末のお忙しい中を受講された先生方のご苦勞様でした。

10数年前、WSを宮崎でも開催することになり、当時担当理事であった私も受講する必要に迫られました。当時は数少ない機会の中で折よく、日医が東京の晴海で開催したWSに参加することができました。2日間のタイトなスケジュールで大変な思いをしたことを思い出します。大学病院に勤務した経験はあっても、教育・指導についての専門的な教育を受けたことはありませんでした。WSは6～7名のグループで役割をローテーション分担しながら簡単なレクチャー後に様々なテーマでグループ毎のWS、全体プレゼンテーションのプログラムを90～120分単位で繰り返すものです。しかも時々理解度を調べるための小テストが施行されます。最も困ったのが、耳慣れない用語でした。タスクフォース、(GIO, SBO)における観察可能な行動（想起、解釈、問題解決、態度、技能）、ステラテジー、形成的評価・総括的評価、カリキュラム作成、学習目標（行動目標・経験目標）、学習方略（方法、資源）、教育（学習）評価等々全く馴染みのない用語が並びます。理解して実行するのに往生しましたが、最近の教育学は「明確な目標を設定し、到達手段としての短期目標を講じ、途中理解度をチェックし、修正し、習得した成果についての評価を多面的に行い、かつ、長期的な成果を上げようとする」ものだそうです。目標達成のためには効果的ではあることは理解できても、理論付けされ耳慣れない用語で表現されると取り付き難い感は否めません。10数年を経ているので、今でも同じカリキュラムか否かはわかりませんが、それ程の違いはないものと思います。このような考えの基に研修医を指導するのは地域医療の即戦力養成として有効であり、欧米では既に実施されているようですし、我が国の医学部教育でも臨床実習時間を増やすなどシステムの改革は進んでいるようです。

WSに参加された先生方、ご苦勞様でした。医学とは異なった分野の勉強も頭の体操になります。毎年開催していますので、会員の先生方も奮ってご参加ください。

(平成31年 1 月11日)

日州医談



勤務環境改善支援センターと医師の働き方改革

常任理事 いけ 井 よし ひこ
池 井 義 彦

勤務環境改善マネジメントシステムとは、各医療機関において、『医師、看護師、薬剤師、事務職員等の幅広い医療スタッフの協力の下、一連の過程を定めて継続的に行う自主的な勤務環境改善を促進することにより、快適な職場環境を形成し、医療スタッフの健康増進と安全確保を図るとともに、医療の質を高め、患者の安全と健康の確保に資すること』を目的として、各医療機関のそれぞれの実態に合った形で、自主的に行われる任意の仕組みです。

都道府県ごとに、勤務環境改善に取り組む医療機関を支援するための「医療勤務環境改善支援センター」を設置し、医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士等）や医業経営アドバイザー（医業経営コンサルタント等）が専門的・総合的な支援を行っています。その運営には地域医療介護総合確保基金と労働局予算が充てられており、宮崎県においても、社会保険労務士による労働時間（働き方・休み方など）の相談、医業経営コンサルタントによる組織マネジメント、経営管理等の相談を受け、専門的な助言・支援を行っています。また、医療機関の勤務環境改善に役立つ情報に関するセミナーを実施しております。今後、医師の勤務環境改善を推進していく上で、支援センターの充実強化とともに、医療機関側における支援センターの有効活用が求められています。しかし、支援センターの運営の問題点があり、現在有効に利用されていないのが現実です。それは、支援センター側から個別の医療機関に積極的に働きかけることは難しく、実際の相談件数はまだまだ多くありません。また、支援センターが取締機関であるとの誤解があり、支援センターの役割は勤務環境改善の自主的な取り組みをサポートすることで、法令違反等の取り締まりを行う機関では全くないという点が正しく理解されていないことです。そのために、経営トップが勤務環境改善への問題意識を持っていたとしても、支援センターの活用に至る積極的なアクションを起こしにくいと思われます。さらに、医療機関においては直接的な診療業務が最優先であり、時間と手間のかかる「勤務環境改善」の優先順位はどうしても低くなりがちです。今後、支援センターの活用の推進と、有益な情報の発信に努め

ていく所存です。

働き方改革実行計画（平成29年3月28日働き方改革実現会議決定）においては、長時間労働の是正のため、労働基準法を改正し、現在36協定の締結により上限無く時間外労働が可能となっている状況を見直す方向性が示されています。

この中で、医師については、医師法（昭和23年法律第201号）に基づく応召義務等の特殊性を踏まえた対応が必要であることから、時間外労働規制の対象とするものの、改正法の施行期日の5年後（2024年4月）を目途に規制を適用することとし、具体的には、医療界の参加の下で検討の場を設け、2年後を目途に規制の具体的な在り方、労働時間の短縮策等について検討し、今年3月を目途に最終結論を得るとされ、現在、『医師の働き方改革』が検討されています。

働き方改革において、医師に限っては、その特殊性から、厚生労働省内に「医師の働き方改革に関する検討会」が別途設けられ、平成29年8月から検討が行われ、平成30年2月に医師の時間外労働規制の施行を待たずとも、勤務医を雇用する個々の医療機関が自らの状況を踏まえ、できることから自主的な取り組みを進めることが重要と考え、以下のとおり、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組みをとりまとめられました。

1. 医師の労働時間管理の適正化に向けた取り組み
2. 36協定の自己点検
3. 既存の産業保健の仕組みの活用
4. タスク・シフティング（業務の移管）の推進
5. 女性医師等に対する支援
6. 医療機関の状況に応じた医師の労働時間短縮に向けた取り組み

このうち、1～3については、現行の労働法制により当然求められる事項も含んでおり、改めて、全医療機関において着実に実施されるべきです。1～5については、勤務医を雇用するすべての医療機関において取り組むことを基本としています。これ以外に、各医療機関の置かれた状況に応じた医師の労働時間短縮に向けた取り組みとして、

- 勤務時間外に緊急でない患者の病状説明

等の対応を行わないこと

- 当直明けの勤務負担の緩和（連続勤務時間数を考慮した退勤時刻の設定）
- 勤務間インターバルや完全休日の設定
- 複数主治医制の導入

など各医療機関・診療科の特性を踏まえた取組を積極的に検討し、導入するよう努める。とされており、各医療機関において検討が進んでいることと思います。

平成29年6月に、日本医師会は「医師の働き方検討委員会」を設置し、議論を進め、平成30年4月に答申をまとめた。その答申等をもとに、医師の働き方改革について医療界の意見を集約し、厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」等に提言することを目的として、「医師の働き方検討委員会」において鋭意検討を重ね、平成30年7月に医師の働き方改革に関する意見書を取りまとめられました。

意見書は、(1)はじめに～「医師の働き方検討会議」について、(2)医師と医療の特殊性、(3)医師の健康確保対策、(4)医師の自己研鑽（けんざん）、(5)医師の宿日直、(6)院外オンコール待機、(7)長時間労働是正のための仕組み、(8)医師における専門業務型裁量労働制―など15項目からなり、多岐にわたる論点について方向性が示されています。この意見書では、医師の働き方を考える前提として、医師という職業には自己研鑽や学びが組み込まれていることや、地域事情、医療機関の機能等に応じた多種多様な働き方があり一律に決めることが難しいこと、診療報酬改定や医療計画の見直し等の影響を受けつつも地域医療の質と量を維持する命題があること、などの特殊性を挙げた上で、「医師の健康と地域医療の両立」という考え方を基本理念としてまとめたものであることが解説されています。

「医師の働き方改革を通じて医療をよくしていく」という大きなビジョンでまとめていくこととして、下記の議論が進められています。

1. 働き方改革の議論を契機とした、今後目指していく医療提供の姿（国民の医療のあり方、タスク・シフティング等の効率化、医療従事者の勤務環境改善等）
2. 働き方改革の検討において考慮すべき、医師の特殊性を含む医療の特性
3. 医師の働き方に関する制度上の論点（時間外労働の上限時間数の設定、宿日直や自己研鑽の取扱い等）

日本医師会は、「当然現行制度を踏まえつつも、長時間労働の是正を進めることを前提として、医師の働き方を単に法令に合わせるのではなく、改革を進めた上で、医師という特殊な職種の働き方を十分に考慮してもらえようという観点からの、柔軟な議論を求めている」としています。

現在検討会では、「勤務間インターバルの義務付け（8～10時間を想定）」、「過労死ライン

を超える残業時間の上限設定（やむを得ず許容する水準）」、「残業上限を超える場合の面接指導（場合によってはドクターストップ）」等が論点となっています。

「過労死ライン」とは、単月100時間未満、2～6か月平均月80時間以内の残業規制のことです。厚生労働省の案では、過労死ラインを越えることを認め、「やむを得ず許容する水準」と位置付けています。充実した健康確保措置を設け、「1日6時間程度」という勤務日に最低限の睡眠時間を確保することも盛り込んでいます。厚生労働省によると、医師の養成には10年程度かかり、急激な労働時間の短縮に取り組めば、一部の地域で十分な医療を提供できなくなるといいます。

現在、厚生労働省において、平成30年12月17日までに、15回の検討会が開催されており、12月25日厚生労働省医政局長より、「医師の労働時間短縮に向けた取組について」が発出されました。

これは、医師の健康確保の観点から、睡眠の重要性をエビデンスに基づき議論し、勤務医の皆さんが一定の睡眠をきちんと確保できる労務管理をしていく重要性について、改めて確認したところです。

このため、個々の医療機関において、以下のポイントを意識して上記「緊急的な取組」に確実に取り組んでいただきたいと考えています。

- タスク・シフティング（業務の移管）により日中の業務を含めて医師の業務が削減できれば、その分、時間外労働時間が短くなります。また、当直中のタスク・シフティングにより、医師がまとまった仮眠が取りやすくなるとも考えられます。
- 既存の産業保健の仕組みを活用して特に睡眠が取れていない医師をスクリーニングし、その健康状態を踏まえ、勤務において配慮することも有効です。
- また、長時間の連続勤務にならざるを得ない場合でも、医療機関の状況に応じて、当直明け負担軽減、勤務間インターバル確保等によってその後まとまった休息を取らせ、疲労を回復できるようにすることも有効です。

各医療機関における「緊急的な取組」が実際に医師の労働時間短縮や医師の健康確保につながっているか振り返っていただき、実効性のある取組みの実施をお願いする内容です。

今年1月11日の第16回の検討会で「とりまとめ骨子案」や「時間外労働規制のあり方について」が話し合われ、今年度中に取りまとめられる予定であります。

今後、県医師会としても、情報の収集、会員への情報提供に努め、医療機関ならびに県民医療に混乱を生じないように努めてまいります。

新 春 随 想

その2

新春の随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

5回目の亥年

宮崎県 かわはら整形外科 リハビリテーションクリニック かわ 河 はら 原 かつ 勝 ひろ 博

自分の干支が来ると年齢を意識してしまいます。今年5回目の亥年で48歳になります。

人生はある一定の周期で転機が訪れると感じます。干支も時の周期の一つで昔の人はよく考えたものだと思います。私も干支の時に人生の転機ありましたので振り返ってみたいと思います。

1971年の亥年に私は兵庫県尼崎市で生まれました。第2次ベビーブームで子どもはとても多かったです。小学生の時に団地のソフトボールチームに入っていました子どもが多いので試合に出るのも一苦勞で様々なアピールが必要でした。この時期に生存競争を勝ち抜くすべを学びました。

2回目の干支、人生を大きく変えたソフトテニスとの出会いがありました。きっかけは中学に入学し丸刈りになるのがイヤだったのとモチそうといったミーハーな思いで始めましたが、その後モチすることもなく中学高校と競技にどっぷりつかり、高校で全国大会に出場、この成績もあり一芸入試初年度の宮崎医科大学に入学し医療の世界に入るきっかけとなりました。

3回目の干支、整形外科との出会いでした。スポーツ整形外科医になりたいとの思いで宮崎医科大学整形外科に入局し、その後、宮崎県内外の関連病院で研修し、整形外科医としての基

礎が出来上がりました。

4回目の干支、大学人としての醍醐味を経験しました。この時期は大学のスポーツグループで臨床、学生指導、国体の帯同などを行いながら大学院にも入学し学位も取得しました。またその後、医学教育の部門でも仕事も行い、大学医学部の3本柱である臨床、研究、教育のそれぞれに携わることができ非常に良い経験をしました。

5回目の干支、医師として24年目、開業医として迎えます。毎日、患者と向き合いつつ、経営者として別の資質も必要となり、大変さと充実感を感じながら日々を送っています。

次の干支はどんな感じで迎えるのか…これから健康に気を付けつつ家族とともに人生の折り返しの時間を楽しみたいと思います。



ささやかな初夢

宮崎市 山村内科 ^{やま}山 ^{むら}村 ^{よし}善 ^{のり}教

去年は嬉しい出来事がいくつかありました。まず1月には、宮崎市長選挙において宮崎市郡医師連盟等からの推薦をいただいた戸敷正氏の選挙対策本部長として3回目の市長選挙を戦い抜き、28日の夜には三選を果たして、栗林忠信後援会連合会長や川名隆司医師連盟委員長と共に万歳三唱をいたしました。2月21日に購入したスクラッチ宝くじでは一等30万円をゲットして家族で山分けしましたし、他にも3万円、1万円、7千円を引き当てました。

4月中旬には日本内科学会総会出席のついでに京都と奈良の国立博物館の国宝群で眼福を味わいました。5月5日には3人の娘たちと安室奈美恵ちゃんの東京ドームでのファイナルコンサートに行きましたし、下旬には日本神経学会総会出席にかこつけて札幌に行き、故石原裕次郎の『恋の町札幌』で歌われている時計台の下に、誰とも待ち合わせずに行って写真に収め、三岸好太郎美術館などに立ち寄り、ついでに小樽まで足を延ばしてきました。6月には日本医師会代議員関連の会議で福岡に行きましたが、翌日には大宰府に数十年ぶりに行って九州国立博物館の偉容に圧倒され、その魅力に嵌まり7月と10月の計3回行き、それぞれ別の企画展を楽しむことができました。8月下旬からは、9月、10月と11月の計4回、鹿児島市に宮崎市郡並びに県医師会関連の会合で行き、転んでもただでは起きない性格なので、鹿児島の馥郁たる文化の香りと焼酎の香りをたっぷりと嗅ぎましたし、かなり年季のいったマジシャンのテクニックを、身近でとくと堪能いたしました。

10月10日(水)、初めて日帰りで上京し、初めて大本山の日本医師会館に行き『医師会共同利用施設検討委員会』に出席しました。12月7日(金)にも日帰りで日本医師会館に行き同委員会に出席しました。今さらながら、県医師会の役員の方々の多忙さをしみじみと実感しております。

9月発刊の『日州医事』に掲載された私の『日州医談』が札幌市医師会誌『札幌通信』11月号に転載されたことも、自分には嬉しい出来事でした。尊敬している作家故渡辺淳一氏の故郷である札幌の先生方に読んでいただく機会が得られたのは、不肖私を県医師会に迎えてくださった河野雅行会長のおかげだと思っています。無事に職責を全うできた暁には、河野会長を主人公にした小説を書いて直木賞を受賞しようと思っています。

初夢や 直木賞を 受賞して
サイン会にて 君に微笑む

ご挨拶

宮崎市 医療法人健松会 ^{なか}中 ^{がわ}川 ^{ひで}秀 ^と人
中山医院

あけましておめでとうございます。宮崎市内で開業している中山医院へ今年の6月より勤務させていただくこととなり、同時に宮崎県医師会にも所属させていただくこととなりました。と言いましても、現在も週1回だけですが宮崎大学医学部附属病院の血液浄化療法部にお邪魔させていただいております。初出勤から半年が経過しまして思うことは、これまで他院に勤務することもありましたが、すべて「病院」であり、「診療所」ではこれまでと異なる感覚が必

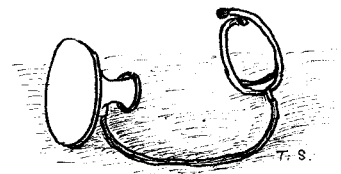
要であるということで、己の不勉強を痛感している次第です。今のところは透析患者さんを中心に診療していますが、紹介があれば腎臓内科の外來も担当させていただいており、今後はプライマリーのバスキュラーアクセス作製手術も行うことができると良いな、と考えております。まだまだ勉強不足の若輩者ですが、今後とも何卒、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2度目の癌から12年

西都市 鶴田病院 ^{くし} 串 ^ま 間 ^{よし} 美 ^{あき} 昭

以前、この日州医事に、「医者の不養生」から「怪我の功名」へ、というタイトルで投稿しましたが、よほど擦った揉んだのがん闘病記が興味深かったのか、その後名誉なことに全国版へも投稿依頼がありました。その私も運良く今年で還暦新春を迎えることになります。あまり高尚な文章は書けませんが、その後の経過を投稿させていただきます。病名は個人情報なので伏せておきますが、22年前も12年前も、術後は入院先の担当の先生方やICUスタッフに相当迷惑を掛けたようです。当時の看護カルテに、「医者と言う職業柄か、色々と内服や点滴、検査データに対する訴えも多いが、ルート類に無頓着だったりすることも見られる」と記録されています。それに、まだドレナージ中にも拘わらず、正座してチューブぎりぎりまで湯船に浸かったり、「リリアバッグ」という閉鎖式の持続吸引バッグを上着に忍ばせて、イオンや山形屋の北海道物産展に行ったりもしました。その

後にチューブ造影をして、瘻孔が穿破し食道が写った時は、さすがに呆然としましたが、何とか瘻孔は閉鎖し、メタボだった肥満体型も当時のウイダーインゼリーだけの食事のおかげで、現在は理想体重に仕上がりました。今でも逆流性食道炎によるびらんからの出血が時々ありますが、異時性異所性重複癌というものの、全く再発の徴候なく経過しています。2度の癌経験で学んだことは、長い人生、例え病気をしたとしても、ゴルフのOBと同じ様にまずは受け入れることが大事だということです。最近、担当の患者さんが亡くなった時に、私がよく使う言葉に、「ようやく修行が終わったんです、生きている人はまだ修行が足りないんです」という仏教の教えがあります。人は「死ぬために生きている」とも言いますが、私もこれから先、いつ3度目のOBが来るか分かりませんが、還暦過ぎてからの人生を悔いなく、そして不養生せずにまだまだ修行していきます。



産 休

日向市 沼田皮膚科 堀之内 かず 和 代



産休をしっかりとって、働きましょう！④

外科医？精神科医？

宮崎市 あけぼの診療所 國 枝 良 行

あけましておめでとうございます。今年48歳の年男になりました。

私は熊本市の出身です。22歳で宮崎医科大学に入学しましたので、宮崎に来て早いものでもう26年経ちます。まさかこんなに長く宮崎に住むとは全く思っていませんでした。

大学を卒業後は東京の研修病院に就職が決まっていたのですが、何の縁があったのか宮医大の第1外科に入局することとなりました。どちらかといえば内科志望であり、外科にも精神科にも興味はなかったのですが、人生はわからないものです。

外科に入局後も紆余曲折あり、麻酔科・救急・ICUでの研修、呼吸器内科・外科への出向、出向先によっては整形外科や脳外科の手術に助手で入ったり、一日中内視鏡をしたりと真っ当な消化器外科医とはいえない道を歩んできました。手術については若い頃は術者症例も多く、年間100例以上も執刀させてもらえるような病院にも出向させていただきました。外科専門医も持っていなかった頃ですので、今考えると当時の指導医の先生方には感謝してもしきれません。

民間病院でがん終末期を多く診ていたためか、次第に緩和医療に興味を持つようになりました。中でも精神腫瘍学（サイコオンコロジー）について勉強したくなり、大学院入学を機に精神科病院に出向させていただきました。当時の担当教官をはじめ、医局の先生方にはたいへんご迷惑をおかけしました。結局、大学院は学位論文が仕上がらず中退しましたが、在学中は日本緩和医療学会・日本精神腫瘍学会主催

のPEACEプロジェクトに発足時より参加し、最先端の勉強をさせていただきました。

外科専門医（更新できず今は認定医です）と精神科専門医を取得している医師は全国でも数人だそうで、我ながら珍しい経歴だと思えます。開業してからは在宅医療にも力を入れており、もはや何が専門かわからず、最近では「何でも屋の町医者です」と名乗っております。今年もよろしくお願い申し上げます。

還暦を迎えて

綾町 たまきクリニック たまき 玉置 のぼる 昇

平成最後となる平成30年の大晦日に還暦を迎えました。めでたいことが続くので大晦日の誕生日も良いものです。2まわり目の人生を新年とともに祝いました。日本では元々（お正月に年をとる）数え年が一般的だったそうです。還暦祝いとは、数え年の61歳になるお正月から節分の頃までにお祝いするのが本来のスタイルとのこと。防寒着である「ちゃんちゃんこ」を贈る習慣も年始の季節に還暦祝いを行っていたことからきているそうです。日本は、超高齢社会（65歳以上の割合が21%以上）を迎えています。2017年は人口の27.7%が65歳以上でした。子供の頃60歳以上は「おじいさん」と感じていましたが、自分もその歳に到達したのだなあ、と感慨深いものがあります。年末に大阪時代の中学校や高校時代の還暦同窓会の誘いがありました。残念ながら別件と重なって出席できませんでした。同窓会の写真をあとで拝見しましたが、見覚えのある方が数名いるもののほとんど

の方は分かりませんでした。当然ですが皆さんそれなりのお年を召しておられます。出席していたら私も誰でしたか？と言われたことでしょう。歳を重ねる毎に時間の経過を速く感じるようになってきています。元々運動は苦手なのですが近くのジムに通ってみようかと考えています。若い頃と同じ様には物事は進みませんが、気持ちは若く保ちながら一日一日を楽しみたいものです。

「乙亥」の想い

宮崎市 古賀総合病院 みなみ 南 しま 嶋 よう 洋 いち 一

2019年は、十二支最後の「亥」（い・いのしし）年であり、平成最後の年でもある。1935年（昭和10年）、干支の「乙亥」（いつがい・きのと）生まれの此の身は年男である。

猪と言えば、「猪突猛進」「猪侍」など、ややネガティブな言葉が浮かぶ。そこで、「乙亥」の特徴・性格をネット上で検索してみた。

『「乙亥」生まれの人は「勇猪」あるいは「男猪」と呼ばれます。正義感が非常に強く、周囲の人のために尽力する面倒見の良さがありますが、少々理屈っぽいところが難点です。他人には親切な一方で、家族に対しては薄情な言動も見られます』と出た。また、『「乙亥」の性格は、頭が良くて機転が利くため、考え過ぎて取り越し苦労をしやすいタイプです。そのため、運気の大きな波を正面から受けやすくなりますが、度胸もあり、困難に果敢に立ち向かいます。波乱万丈な人生を冷静で乗り越えていくため、教育者、学者や技術職に向いています』というの

もあった。概して、正直・勤勉・活動的という長所があるものの、義侠心・批判的・身内に冷たい、という短所が指摘されている。

猪は、昨今害獣扱いされているが、本来、嗅覚が鋭い、神経質で臆病な動物である。ただ、攻撃を受けると怒毛を立てて突撃する性質がある。この点は我が身にも当てはまると認めざるを得ない。

なお、猪は、助走せずに跳躍が出来るなど、身体能力が高く、記憶力や学習力などの知能も

半端ではないらしい。これらの点はあやかりたいものである。亥（猪）年用に、早速、「白猪」を刻したゴルフボールを1箱（12個）買った。「猪」球の直進性を期待している。

老猪たる此の身、夜な夜な「お猪口」を口に
して生き、「受身の積極」に徹し、座敷がかか
れば「乙亥」の流儀で役割を全うして、「無功
徳」の境地を目指したい。

七度目の亥年を迎えたり

疫見張りつつ去年今年なく

短 歌

重心病棟スケッチ

胎内に 抱かるる如き 姿して 眠り深けゆく 重心病棟

週一の 缶コーヒーを 待ちわびて 笑みがこぼれる 今日の水曜

いろいろと 問えど返事は いつもいつも 唯一無二の 微笑み返し

そわそわと 落ち着きなきを いぶかれば 予知能力か 親の訪ずる

木漏れ日は カタコト揺れて 車椅子 微かな笑みの 頬を過ぎゆく

幾十年 施設に居れば 通夜の席 訪う人も絶え 線香灰(ほの)か

通夜の席 退職職員 駆けつけて 親の肩抱き 昔を語る

子を残し 先には死ねぬと 言う親の 重荷は重し 誰か担げる

夢の中 赤児の時に 生かされて 点滴胃瘻 気管切開

何事の なければ今は 母となり 孫もあるべし 寝たきりの女(ひと)

日南市 愛泉会日南病院 山口和正

医療と人工知能(AI)

小林市 医療法人 東陽会 整形外科前原病院 竹之内 剛

医療と人工知能(AI)に関する講演を拝聴する機会がありました。未来の世界から来た猫型ロボット「ドラえもん」のように、人間らしい知性でふるまえるAIは、研究段階であり、現在のAI技術の延長線上にはないようですが、Appleの「Siri」に代表される音声対話システムのような特定の場面で人間の行動の一部を代替していくAIは、医療でも、診断補助分野で研究開発が加速しており、採血データや画像診断についてはAIが下処理をして、診断確認を医師が下すといった役割分担で、今後AIが導入されていくだろうとのことでした。

とかく診療に追われ、日々の診療をこなすために、症状から診断をつけ、症状に合った投薬をするといった流れ作業的な医療となれば、いつの日か医療が、AIで代替されてしまう将来がくるかもしれません。しかし、患者が医療に求めているものは、病気を治すといった単純なことだけでなく、「不安を解消したい」「誰かに話を聞いてほしい」など様々で、すべてがコミュニケーションの上に成り立つ医療の大切な面であることを認識しておけば、AIにとってかわられる可能性は減るのではないのでしょうか。大学や、機能病院勤務時代には、なかなか難しい十分なコミュニケーションを図り、患者が真に必要としていることに対して医療ができることを一緒に探し出す「赤ひげ」的な地域医療の場では、現在のAIで対応するのはまだ難しいでしょう。

一方で時間は無限ではないので、AIで医療業務の補助が可能となれば、医師はこれまでで

上に、患者に向き合うための時間を持てるようになり、治療だけでなく、患者が病気と向き合うための手助けができる医療が可能となるかもしれません。医師として18年が過ぎ、ここまで普及すると思わなかった電子カルテも普及してきたことを考えると、10年もすれば、医療の現場でAIが医療補助となっていくだろうと思われます。AIに代替えされない医療を行っていくよう今後も専念していきたいです。

秋月三名君を想う

高鍋町 愛生堂坂田病院 坂田 通

晩秋の一日、高鍋町と姉妹都市関係にある山形県米沢市を訪れる機会に恵まれ、市立米沢図書館主幹の青木昭博先生から、秋月三名君のお話を拝聴した。秋月三名君とは、高鍋藩秋月家の七代藩主種茂（鶴山）公、その弟君である米沢藩上杉家九代藩主治憲（鷹山）公、種茂公の次男である秋月藩黒田家八代藩主長舒公のことである。

私は、明け方の夢の中で茶立虫にメタモルフォーゼして、江戸の上杉家上屋敷に居る。久しぶりに再会された三名君が、にこやかに米沢から届けられた鯉の甘露煮を肴に酒を酌み交わしておられる。まず、鷹山公が今飲んでいるお酒は、普門院で細井平洲先生と酌み交わした酒と同じ蔵元であることを言われ、平洲先生の「勇なるかな勇なるかな、勇にあらずして何をもって行わんや」を紹介され、その後三好義太夫の思い出を語られた。次に鶴山公が高鍋の近況とともに、明倫堂と千手八太郎先生について語られた。茶立虫は、自分が明倫堂に入校した

ならば、千手先生は苦手だろうなと考える。最後は長舒公が、原古処先生と緒方春朔（免疫学ディレタントにとっては、たまらない名前）先生のことを少し自慢げに語られ、稽古館は興讓館や明倫堂に勝るとも劣らない藩校であると言われ、茶立虫の夢は覚める。

私は高鍋の偉人・石井十次先生を心から尊敬しているが、十次先生の“縄の帯”の伝説は、鶴山公が鷹狩りの時、貧しい農民の弁当と御自分の弁当を交換して泣きながら食べられた逸話を思い出し、安倍首相が引用された「為せよ、屈するなかれ。時重なればその事必らず成らん」は鷹山公の“為せば成る”に繋がっていると思う。

現代は少子高齢化が進行し、一方で子供の貧困のような深刻な問題が浮上している。百年後の日本のことを思うと愚者の私にも眠れない夜もある。秋月三名君の清廉潔白で民への慈愛に満ちた生き方を述べ伝えていくことも、我々の大事な務めであるように思う今日この頃である。

還 暦

宮崎市 せき診療所内科・せき 呼吸器内科 関 良 二

私が小学生の頃、親戚の家に行くと叔父さんが赤い羽織と赤い頭巾をかぶって満面の笑みで赤い座布団に座っていた。花咲か爺さんを思い浮かべた。親に尋ねると、この日は還暦の祝いで、60歳になると赤ちゃんに還ると言い伝えられ、赤いものを身に着けて祝うのだという。恥を忍んで告白すると、十二支のことは知っていたので、5回まわると歴が還るのだと思い込ん

でいた。今年還暦を迎えるに当たり、改めて調べてみると、干支（えと）とは十干（じっかん＝甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸）と十二支（じゅうにし＝子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥）の組み合わせで、「甲子」に始まり「癸亥」に終わる。60回で一巡するので61回目を還暦という。なるほど、干支＝十二支としか考えていなかったことは恥ずかしい限りである。はて？、自分の干支は亥と思っていたが、正式には己亥（つちのとい）であった。正式な干支は性格診断や占い等で使われることはあるようだが、これまでそれを知らなくても日常生活には支障はなかった。干支の起源は中国の殷（イン）の時代だそうだが、紀元前1300年頃のことである。当時、60歳まで生きる人は極めて少なかったと思われるので、還暦が赤ちゃんに戻って人生の再出発と言い伝えられるのは合点がいくし、盛大なお祝いの節目だったのだろう。現代でも定年退職は60歳だが、最近は平均寿命が延びて、年金受給は65歳に延び、政府はそれを70－75歳に伸ばそうとしている。日本の平均寿命は2016年に世界2位である。その原動力は医療の皆保険、フリーアクセスが大きく寄与していると思うので現医療制度を維持してもらいたい。ちなみに120歳を大還暦と言うそうである。日本では徳之島の泉重千代さんの寿命が120歳237日とされていたが、様々な理由で2010年にギネス認定が取り消された。ギネス認定されているのは1995年のジャンヌ・カルマン（フランス人・死亡時年齢122歳と164日）のみが大還暦を達成しているそうである。

年男雑感

宮崎市 小池レディース クリニック 小 池 弘 幸

「日州医事」編集部より「年男」の原稿依頼の手紙が来た。一瞬戸惑った。そうか、還暦からもう12年経っているのだから、今年は確かに年男になる訳である。

2年前に市郡産婦人科医会で、他の3名と共に「古稀の祝い」をしてもらった。それからは年齢が公になったためか、否が応でも年齢を意識させられることが多くなった。気は若いつもりなのだが、周りがそれを許さない。

2016年の日本人の平均寿命は男性80.98歳、女性87.14歳と、いずれも過去最高を更新したという。しかし、大事なものは、平均寿命ではなくて健康寿命である。2016年の健康寿命は男性が72.14歳、女性が74.79歳である。自立できなくて生きている期間が、なんと9～12年にも及んでいる。

平均寿命が延びたとは言っても、寝たきりで生きる人生は寂しい。幸い私は健康寿命近くまでは健康に生きられた訳だが、明日のことは判らない。

自立できなくて生きている期間、つまり介護される期間は決してQOLが良い状態とは言えないだろう。願わくは、平均寿命＝健康寿命、いわゆる「ピンピンコロリ」の状態を人生を全うしたい。

最近、QOLに対して、QODという言葉を見かけるようになった。QODとは、Quality Of Deathのことである。なんだかんだと言っても、我々はいつか必ず死ぬ。死を敗北ととらえず、死に方や死ぬ時期を想定し、そこまでただ生きるのではなく、質の高い生活を送るという

ことである。

年齢はスピードに例えられる。つまり、72歳の今年は、私は時速72kmのスピードで人生を生きているようだ。10歳の子どもは、同じ時間を時速10kmで生きているから、当然一日が長い。

チコちゃんの「永遠の5歳」とは言わないまでも、次の年男も元気で迎えたい。原稿依頼が来ることを期待しつつ。

聖職の碑

延岡市 長沼医院 長 沼 弘三郎

息子に跡目を譲り週の半分だけ働いているが、すっかり手持ち無沙汰になり、天気が続くと血が騒いでどこかに行きたくなる。と、いうことで最近信州の山山に出かけている。

思い返すと7月、8月に白馬岳、槍ヶ岳、9月には中央アルプス木曽駒ヶ岳に登った。ロープウェイでしらび平から千畳敷に上がり、乗越浄土を経て頂上に至り北御所登山口に下山した。その途中で思いがけなく別山の尾根伝いにある「遭難記念碑（聖職の碑）」の在り所を耳にした。帰ってから早速遭難事件を題材にした新田次郎の小説「聖職の碑」を読んだ。

大正2年8月26日、長野県の中箕輪尋常高等小学校の生徒ら37名が修学登山で木曽駒ヶ岳に向かい、急な暴風雨に遭い赤羽校長を含め11名が凍死したという。「碑」は同年揮毫された。

それから「碑」を一度見ておきたいと思って、10月になり期をたがえずに西駒山荘が閉じる直前駆け込むように再登山を計画した。今回は慎重を期して山岳ガイドと「同行二人」となった。



その日は千畳敷、駒ヶ岳、将基頭山のコースを辿り西駒山荘に泊ったが、駒ヶ岳山頂から馬の背にかけて、あいにくの台風のあおりで雨まじりの風が吹き通し、3時間かかってやっとの思いで目的地に立った。

足元のこの山の稜線で11名が亡くなったのだ。薄闇の中、這松に縁取られて巨大な自然石の「碑」がほんやりと浮かび上がって見えたが、105年を経過して文字ははっきりと読みとれなく、碑文は側の岩塊に転写されていた。果して今日、この「碑」を見て感動を新たにし記憶に刻む人がいるのだろうかと思ったが、今もって毎年「碑」を祈念して生徒の集団登山がなされているとのことである。故にこれからも「碑」の由来が信州の人達の記憶から忘れ去られることはないだろう。

帰りの電車の中で様々な思いが心をよぎった。聖職…先生といえば、小学4年生の時の担任だった“男先生”を思いだす。図画の時間はもちろん、空いた時間はもっぱら近くの山を歩き回って野外で写生するのが日常で、“やま学校”のような趣だった。それが今となって何よりの心の拠り所になっている。

昨今、「聖職者」に値する先生がいるかどうか

か疑わしいが、「教師冥利に尽きる」とはよく聞く。話は変わるが「医者冥利に尽きる」とも一度くらいは胸を張って言ってみたいものだ。

そこに山がアールから(初心者編)

宮崎市 細川内科クリニック ほそ かわ かず よし
細 川 和 義

数年前に突然同居人に「また山に登るよ!」と宣告されてしまった。麓の温泉につかって眺めるのは好きではあるが、わずかししか登山の経験がなく「まあいいんじゃないの」と曖昧に答えると、「北アルプスに行く!」と言われたので、慌てて初心者が登れるところじゃないとダメだとの条件を提示し、何とか了承を得た。

上高地近辺のトレッキングは何度かしており、景色が素晴らしく、今度は山に登ってみたいとのことであった。翌日から本屋、登山用品販売の店等に付き合わされ準備をさせられることになった。「くれぐれも安全なところにしか行かないから。そんなに本格的装備は不要だから」と^{なだ}めつつ、現地への移動手段を考えていた。同居人は方向音痴なので、移動は任されていた。乗鞍なら「ワイドビューひだ」で高山まで、立山なら富山から富山地方鉄道(地鉄)がいいと説明した。心のなかでは「キハ85系のワイドビューは好きだなあ。地鉄なら元西武や元東急の電車が見れるかな」と考えていると、察しがついたのか福岡空港から松本空港行の利用に変更されてしまった。やや気落ちしつつも乗鞍岳、翌年立山に登った。どちらも思ったより気軽に登れ、天候にも恵まれ雲の上からの景色が素晴らしく、柄にもなく感動してしまった。簡単な

山でも達成感はそれなりにあるものである。ふと周りを見ると山「ガール」は少なくガールの過去形（失礼）の方々が殆どで、確かに中高年が多いと実感させられた。お互い登山前の準備運動と無理しないことが大切すな、小生は使ったことはないがいつもニトロ持参してますよ、と心の中で呼びかけた。その後もいくつか簡単な山に時々登っている。同じ山を何度も登るのが登山の醍醐味の一つであるようだが、あまり機会がないため新しいところを希望し、今度は大山や鳥海山に登りたいとのこと。「もし行くならば、大山は移動が不便だからサンライズ出雲を利用すべきだ、とどうやって説得しようか」と密かに心の中で思っている。

晩秋に植えた花々

西都市 西都病院 ^{とも}友 ^{なり}成 ^{ひさ}久 ^お雄
美しき 日々巻きこんで 葉牡丹は
鹿 嶋 美恵子

我が家の小さな花壇は春過ぎから雑草の畑になっていた。せめて梅雨のうちにもう一度花を植えるといいのだがと思いながらも、一向にファイトが出ないのだ。畝で耕して元肥を混ぜるという準備がひどくおっくうだった。11月には春の花を植えないといけない。差し迫ってようやく決心がついた。例年のように宮崎神宮の植木市に苗を仕入れに行く。大きな花屋で一通り見て、花壇の中心部に植えるのはダリアにしようとして、好きな花を選ぶ。

定番のプリムラジュリアンとパンジー、ビオラは花壇の前列に植えるから、他の花の配置は

決めやすい。ダリアは夏の花と思っていたが、大輪で八重の鮮やかな花がもういくつも付いている。株も大きいから、存在感がある。黄色と淡いピンクに朱色の3本を選んだが、朱色の花は珍しい気がする。花期は図鑑では初夏から秋だが、苗の札には春から秋と書いてある。早く咲くように改良されたのだらうと思った。ダリアは新大陸原産で、18世紀後半にヨーロッパに登場し、印象派が活躍する頃画家たちが魅了されたという。夏の花の女王とされる。ちなみに、歌人の与謝野晶子は次のような歌を詠んでいる。

「いにしへのクレオパトラを飾りたる

玉の色してめでたきダリア」

ダリアの手前にはペチュニアの色違いというのを植えた。花はアサガオのような形をしているが、黄色の花弁に縦に紫の筋が入って2色になっているのが珍しい。ダリアの横にはガーベラを植えた。一重の花は茎の頭部だけについているので、スリムで上品な感じだ。調べてみると、ダリアと同じキク科で、花車という和名があった。南ア原産で、発見は19世紀後半と遅く、日本には明治の末頃伝わったという。その花ことばは『神秘』だという。

寒さに強いジュリアンは早くも満開で、明るい色彩を放っている。パンジーとビオラは春先には大きく成長するので、株間を空けて植えた。これらの3種が花壇の前列に横に並べている。昨年から植えているスカビオサは、淡い澄んだ青紫の花。姿形も小さく弱々しい。鮮やかな、あるいは華やかな多くの花々の間にあって、大人しい可憐な少女を思わせる。「失恋」という花ことばも合っている気がする。マツムシソウという別名を今回初めて知った。

美女ナデシコは初めて植えた。中心の長い茎の頭頂にだけ1～2センチの小さな花が多数傘状についている。多くのわき芽の枝先には今のところ小花が1個ずつついていて、成長につれて数が増えて傘状になるのかと、面白いなと思った。

最後列にカーネーションを3株植えた。矮性種で丈は低い株立ちで、春にはかなり大きく成長すると名札にあったので、株間を空けて植えた。これもナデシコ科の多年草で、美女ナデシコと同じダイアンサス属に属している。高性種は切り花で母の日に贈られる。その花ことは「激しい恋」とあるが、母とは関係ないだろうに。

全部で10数株、40本の苗を植え終わると、達成感を覚える。苗を選んだり、植え込んだりする作業は楽しいものだった。ほとんどの種類も違う色の花を選んだので、実に多彩な花壇になったが、一本一本もそれぞれ美しい。毎日眺めるのが楽しみだ。心が和み癒やされるのは言うまでもない。

1か月近く経って、春先にマーガレットを植えようと思っていた所など、数箇所の少し空いた地肌が気になってきた。たまたま街の花屋で目に留まった黄花のデージーと、他のグリーンセンターで買ったキンギョソウやセキチクなど12本で埋めた。それで花壇が完成したと思えるのだった。



クラフトビールとみやざき

宮崎市 宮崎大学医学部
地域医療・総合診療医学講座 よしむら まなぶ 学

10年ほど前、米国オレゴン州ポートランドに短期視察で行った時に市内のレストランで何を飲むかと聞かれ、とりあえずビールみたいな返事をしたら、どの種類のビールだとさらに聞かれて初めて何種類ものビールがあることを知ったのだった。そして友人の勧めで苦味の強いビールを飲んだ。それがIPA（インディアンペールエール）だった。それを作っているのは市内の小さな醸造所（マイクロブルワリー）で、市内には沢山あって同じIPAでも色々な味の違いがあると知った。ビールの種類が豊富で色々な味を楽しんでいる人々の姿に驚いたとともに、日本でももっとビールを楽しめるといいと感じた。

数年前に再びポートランドに行く機会に恵まれた。クラフトビール作りがさらに盛んになっていた。地元で作ったホップを使っているとか有機栽培のだけを使っているとか、とにかくこだわりの伝わってきた。日本でもそれまで地ビールと呼んでいた流れからクラフトビールへのブームが加速していた。ご縁をいただいて4年前に宮崎に戻ってきた。宮崎でクラフトビールが飲めたらいいなと思ったら、実は宮崎ひでじビールというこの業界でのトップランナーの地元企業があり、数々の試練を乗り越えて今では世界一の評価をもらうまでになっていることがわかった。宮崎から世界を目指す姿に勝手に共感している。もう一つ宮崎には、クラフトビールが常時10タップ近く楽しめるビアバー Beer Market Base が市内にあることもわかった。しかも6年前から開業されていたのだ。す

ごい。なんてラッキーなんだとこれまた感激して、以来通っている。国内外のビールを味わう、そこに集まってくる人との会話などを楽しんでいる。昨秋にオーナーと店長が力を合わせてクラウドファンディングで得た資金で、ついに念願の自家小醸造所を開設されたのだ。どんな味のビールができるか楽しみである。飲み過ぎに気をつけつつ、No Beer No Life.

日本の医療・介護制度と台湾

延岡市 あたご整形外科 さとう のぶ ひろ 佐藤 信 博

新年あけましておめでとうございます。

最近、台湾の医療・介護制度を知る機会があり、逆に日本の医療政策を改めて考えさせられました。

台湾には医療保険制度はありますが、介護保険制度はありません。台湾の人口は2022年に減少に転じ、2065年には現在の総人口2,357万人から1,600～1,880万人にまで減ると予測されています。2018年には65歳以上の高齢者が占める割合が14%以上の「高齢社会」を、2025年には21%以上の「超高齢社会」を迎えます。日本以上の高齢化加速です。台湾での介護保険制度の整備は喫緊の問題ですが、具体的な筋道はまだ決まっていない様です。いばらの道を歩かなければならないのは、今後の日本も同じでしょう。

一方、台湾の医療保険は日本と同じ社会保険方式の「全民健康保険」が全国民をカバーしています。支払側は日本と違い、単一支払者の行政院衛生署だけです。医療費が予想外に伸びたため、2002年に総額予算支払制度が導入されま

した。これは行政院衛生署が年間総額医療費を決定し、その予算内で1点あたりの診療報酬金額を調整して医療費を支払うと言うものです。日本の様に1点10円ではなく、極端な例で説明しますと、当該年度の総額が決められた額の倍になれば、その次の年は1点5円に下げられるというものです。

日本の厚労省はこの制度を熟知していると私は思います。そして、この制度が日本に持ち込まれる可能性は低くないと考えます。と言うのは、ご存知ない方も多いと思いますが、いま韓国で問題となっているコンピューターによるレセプトの審査・査定（査定率の急高騰）が、日本にも導入されそうになっているからです。保険審査はAIで決められるほど簡単なものではなく、専門の医師達が知恵を絞り苦勞しながら行っているのが現状です。専門の医師ではなく、看護師などの『医療専門職等』が最終審査する制度が導入されれば、日本の医療保険制度は崩壊すると危惧します。安心・安全な日本の医療・介護制度を私たちは本腰を入れて守っていかねばなりません。

昨年の振り返りと今年の抱負

宮崎大学医学部 いけ だ りゅう じ 池田 龍二
宮崎市 附属病院 薬剤部

あけましておめでとうございます。日頃よりご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、平成29年4月1日付で宮崎大学医学部附属病院の教授・薬剤部長を任せられ、宮崎の地に着任してから丸2年が経とうとしています。

昨年を振り返りますと、当院薬剤部は昨年1

月に宮崎大学医学部附属病院長賞をいただきました。薬剤部職員が患者さんの医療安全を考え、医薬品の適正使用に努めた結果だととても嬉しく思いました。

当院薬剤部では、調剤、製剤、医薬品管理、医薬品情報、病棟活動、IVHや抗がん薬の調製などを実施しています。また、感染領域、緩和領域、NST、褥瘡対策など様々な領域で薬剤師がチーム医療の一員として活動しています。昨年は、当院薬剤部から日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師、日本緩和医療薬学会認定薬剤師、がん臨床研究専門職など様々な分野に特化した資格取得者を輩出しており、職員のモチベーションが上がっていることを実感するとともに、薬の専門家としての専門性が問われるチーム医療においてさらに活躍できると感じた1年でした。

研究面では、医療に貢献する薬剤師として臨床薬剤学や臨床薬理学の専門性を活かし、国内外に7報の論文を発表しました。今後も患者さんに還元できるような研究を推進していきたいと思っています。また、教育面では、宮崎大学医学部の学生や薬学部の長期実務実習生に医薬品の適正使用に向けた取組みを教育しています。

現在、当院薬剤部は薬剤師数37名ですが、今年4月には昨年に引き続き、志の高い新任薬剤師が複数名入ってきます。これまで以上に医療業務、研究、教育を充実させ薬物療法の質を向上させることで、患者さんの満足度と医療の質に貢献できるよう努力いたしますので、今年も何卒よろしく願いいたします。

一心精進の果てに

西都市 大塚病院 ^{おお}大 ^{つか}塚 ^{こうじろう}康二朗

45歳を目前に控え、自分の容姿を改めて鏡で見た時、悲しい気持ちになった。私は小学校から大学までサッカー、陸上を続け、また社会人になってからも暇を見つけてはトレーニングを行い体形を維持してきた。しかし医師としての仕事、また家庭を守る責務が多くなっていくうちに、「時間がないから仕方がない」と自らに言い訳を作っていた。その結果、人生で最も体重、脂肪量共にMAX！筋力も落ちていた。

そんな今年の5月、家族でプールに行く話題になった。3人の子どもたちは楽しみにしていたが、長女はすでに中学2年生。私は、一念発起しトレーニングを始めた。

2018第一生命保険の「サラリーマン川柳」で、「スポーツジム車で行ってチャリをこぐ」が1位であったが、私は市内のルネサンスに入った。確固たる意志を持って始めるものの、月謝を払うことで背水の陣を敷く思いだった。仕事を終えてからの21:00以降の2時間、2回／週を目標に設定し、トレーナーの先生に体幹の鍛え方、筋トレの基本、食事についての指導を受けた。炭水化物好きの私の「食事だけはどうかかなりませんか？」との意見に、よりハードなトレーニングで解消できることを確認できたのは幸いでした。結果として、4か月で、体重は64kg→57kg、体脂肪は25%→16%まで絞ることに成功できたのです！

しかし、何事にも功罪があると感じた。素敵なお父さんになるためのトレーニングに励んだ結果、プールでの評価は上々であった。しかし、結果として自宅にいる時間が少なくなり長

男、次女の子就寝に間に合わない日を多く作り寂しい思いをさせてしまっていた…。

一心精進の果てにあったものは、一石二鳥は得難く、後悔はしないものの、ラビリンスに迷い込むような感覚であった。

皮膚科のサブスペシャリティ “皮膚悪性腫瘍指導専門医”

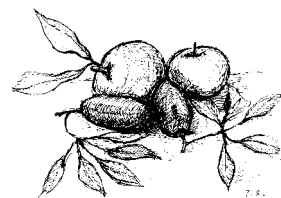
宮崎市 宮崎大学医学部感覚運動医学講座 皮膚科学分野 あまのまさひろ
天野正宏

2019年度、私の持つ“皮膚悪性腫瘍指導専門医”資格が5年ぶりに更新される。更新手続きの締め切りは2018年12月20日である。皮膚科は湿疹や水虫ばかりを診ているイメージだが、宮崎大学皮膚科は全国で5本の指に入るほど、皮膚の手術を手掛けている。この資格は日本専門医機構が公式に認めたものではなく、日本皮膚科学会内でのサブスペシャリティである。日本形成外科学会にも似た様な“皮膚腫瘍外科分野指導医”がある。皮膚科学会と形成外科学会が共通の“2階建て”を作ったなら日本専門医機構も公認したのだが、別々にしてしまった。2018年12月現在、“皮膚科専門医”が6,850人に対し、この“皮膚悪性腫瘍指導専門医”は全国に81人しかいない。宮崎県も私を含め2人である。

更新の条件は、5年間に規定単位（講習会・学会参加、学会発表、論文・著作など）を取得することはどの学会でも同じであるが、鬼門は①「皮膚悪性腫瘍30症例の治療経験を有すること。そのうち、代表的手術症例の実施記録を5例記載すること」、②「抗がん化学療法については、皮膚悪性腫瘍6症例実施した経験を有す

ること。そのうち、代表的抗がん化学療法症例の実施記録を3例記載すること」、③「皮膚悪性リンパ腫3症例の診療実績を有すること」である。①については実際に手術に入らなければならない。しかも術者あるいは指導的助手であることが条件である。この5年間に76症例の手術に就き、51例が皮膚癌の手術であった。十分足りている。しかし実施記録の最後に「この症例の問題点と解決」を記載することになっており、「切除して縫合した」の様な簡単な症例では駄目である。次に②“抗がん化学療法実施記録”に移る。10年前まで当科も多剤併用療法を自分達で行っていたが、最近は他科に依頼することが多く実施症例は多くはない。そして実施記録の最後に「本患者の問題点」を記載しなければならない。しかし毎週、カンファレンスで患者さんの手術や治療方針を検討しているので、難なく記載できた。③に関して当科は成人T細胞白血病/リンパ腫（ATLL）患者さんを多く診療している。更新のための書類作成に相当な時間を費やしたが、折々の患者さんが思い出されて、自分の未熟さに反省させられた。

今回、“皮膚悪性腫瘍指導専門医”資格更新の書類作成を終了し考えた。この資格は実際、皮膚癌の手術や抗がん化学療法を行っている大きな基幹病院でしか更新できない。今年、私は還暦を迎え、今回の更新が64歳となる。自身の定年まで、今後も皮膚癌の手術、診療に携わっていききたい。



エコー・リレー

(522回)

(南から北へ北から南へ)

ある夫婦

宮崎市 宮崎大学医学部 ^{にし}西 ^{むら}村 ^{まさ}賢 ^と人
研修医

生と死の境目は明確なものではないが、様々な基準でもって死を切り取り、物事が動いている。医療はその最たる例であろう。

しかしそれも、一つの観点に絞ったものに過ぎず、科学者・宗教家・死に関与するスペシャリティを持たない老若男女、万人が納得する境目を指さすのは不可能だろう。

日本人の死生観は遅れていると聞く。大多数が死など自分とは遙か遠くにあるボヤけた像としか認識できていないと。医師として経験の乏しい私も、未だ死が生と地続きにあることを本当の意味で理解できているのか、自信はない。

それでも患者さんの中には死の意識を内的に処理できている方も多くいるが、そのための時間のあった方がほとんどのように感じている。

だが、日常に突然降りかかってきた場合はどうか。

私にはまだ妻子がなく、家族といえば、父母と姉妹である。憎まれ口を叩く私に怒る父や、心根の優しく頼りない母と、小さな頃むかつけば躊躇なくビンタしあった姉や妹が死んだら、私はどのような顔をするのだろうか。そして仮に、苦楽を共にした妻に先立たれた時に、私は何を思うだろうか。

余命の長くない病だと告げられた時、困ったように笑った夫と、その隣で顔を覆った妻がいた。ある夫婦を思い出す。

[次回は、宮崎市の永友 克己先生をお願いします]

柴犬の魅力

宮崎市 あいクリニック ^か甲 ^い斐 ^{きょう}恭 ^こ子

空前の柴犬ブームである。TVにも柴犬が溢れている(ように見える)。流行に乗っかり、我が家も豆柴を飼い始めた。正確に言うと豆柴という犬種はいないらしい。

小さいサイズの柴犬を豆柴というので、成長してみたら豆柴ではなかったということもあるという。今の時代、ネットで全国の仔犬の写真を見て選ぶことができる。その中から信頼できそうなブリーダーさんに連絡をした。七夕に空輸でやって来て、銀河という名前になった。最初は、気難しい年頃になった長男の情操教育になればと考えていたが、すっかり私がメロメロである。くるんと巻いた尻尾、もふもふとしたお尻、ピンと立った三角の耳を後ろから見ながらの散歩は、この寒い季節でも全く苦にならない。日頃の運動不足の解消にもなっている。長男の塾代よりも高額なしつけ教室に通ったうちの犬は(親バカ)、私と一緒に出勤して診察室でいつも静かに寝ている。意外にも嫌がる方は少なく、「銀ちゃん、銀ちゃん」と声をかけてもらっている。昔犬を飼っていたという人、高齢になって飼うのをためらっている人などは、会うのを楽しみに受診される。これまで硬い表情だった人が初めて笑顔になったこともあった。もはや看板犬ならぬ立派なセラピー犬である。私も週末には県内のドッグランをめぐって楽しんでおり、ママ友ならぬ犬友もできた。スタッフから綱吉公と揶揄されようが、私は今日も犬を連れて診察する。

[次回は、宮崎市の西田 深雪先生をお願いします]

表彰・祝賀

学校保健功勞により日本医師会長表彰

くろ せ あき はる
黒 瀬 明 治 先生(延 岡)

平成30年10月27日、全国学校保健・学校医大会において学校保健功勞により日本医師会長表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



黒瀬 先生

厚生労働省労働基準局長表彰

あ く ね ひろ のぶ
阿久根 広 宣 先生(宮 崎)

平成30年12月26日、労働基準行政関係功勞により厚生労働省労働基準局長表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



阿久根 先生

表彰・祝賀

公衆衛生事業功勞により県知事表彰

やま うち よし ずみ 先生(都 城)

きの した よし み 先生(延 岡)

こ だま よし ひさ 先生(西 都)

平成31年 1 月28日、公衆衛生事業功勞により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



山内 先生



木下 先生



児玉 先生



宮崎県感染症発生動向 ～ 12月～

平成30年12月3日～平成30年12月30日(第49週～第52週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。
 2類：○結核10例(男性7例・女性3例)：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代で、無症状病原体保有者で、原因菌のO血清型はO91(VT1)である。

4類：○重症熱性血小板減少症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として発熱、神経症状、血小板減少、白血球減少等がみられた。ダニの刺し口は確認できなかった。

○つつが虫病19例：(男性9例・女性10例)：保健所別報告数は【図2】、年齢別報告数は【表3】のとおりである。主な症状として頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹等がみられた。

○日本紅斑熱1例：日南保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状として発熱、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代の男性で、病型は腸管アメーバ症である。主な症状は腹痛がみられた。海外渡航歴があった。

○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で、病型はC型である。主な症状として全身倦怠感、肝機能異常、黄疸がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状は尿路感染症である。原因菌は*Escherichia coli*, ESBL+であった。

○急性弛緩性麻痺1例：宮崎市保健所管内から報告があった。10歳代で、主な症状として弛緩性麻痺、深部腱反射低下、筋肉痛がみられた。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で、病型はヘルペスウイルスである。主な症状として発熱、項部硬直、意識障害、髄液細胞数の増加等がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。いずれも60歳代で、主な症状として発熱、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症がみられた。いずれもワクチン接種歴はなかった。

○水痘(入院例)1例：都城保健所管内から報告があった。50歳代で、主な症状として発熱、発疹、肝炎がみられた。ワクチン接種歴は不明である。

○梅毒4例(男性1例・女性3例)：宮崎市・延岡(各2例)保健所管内から報告があった。20歳代(2例)と30歳代・40歳代(各1例)で、病型は早期顕症梅毒(I

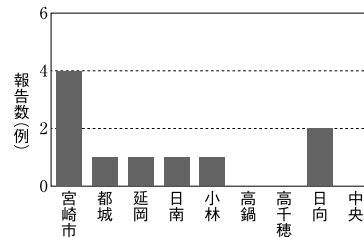


図1 結核 保健所別報告数

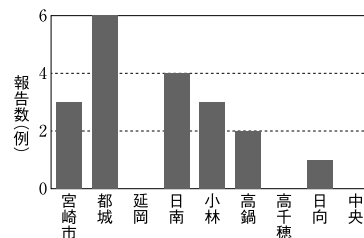


図2 つつが虫 保健所別報告数

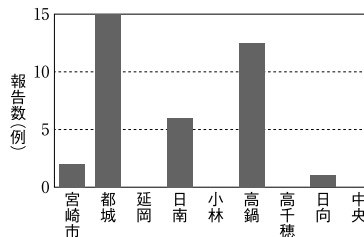


図3 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	6
その他の結核 (結核性胸膜炎)	2
無症状病原体保有者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	3
70歳代	3
80歳代	2

表3 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	3
60歳代	3
70歳代	5
80歳以上	5

表4 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	2
5～9歳	11
10歳代	22
30歳代	1
50歳代	1

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	インフルエンザウイルスAH3	2
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	1
	インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	1
	コクサッキーウイルスA16型	1
	単純ヘルペスウイルス1型	1
	パルボウイルスB19	2
	ヒトヘルペスウイルス6	2
	ライノウイルス	1
細菌	<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	2
	<i>Salmonella</i> Bareilly (O7:y:1,5)	1

期) 1 例, 早期顕症梅毒(Ⅱ期) 3 例である。主な症状として梅毒性バラ疹, 顎部潰瘍がみられた。
○百日咳37例(男性15例・女性22例): 保健所別報告数は【図3】, 年齢別報告数は【表4】のとおりである。
主な症状として持続する咳, 夜間の咳き込み, ウーブ, 嘔吐がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(27例), 無(4例), 不明(6例)である。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,668人(定点あたり109.1)で, 前月の約96%, 例年の約71%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑で, 減少した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病である。また, 例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はヘルパンギーナと流行性角結膜炎である。

インフルエンザの報告数は687人(11.6)で前月の約15倍, 例年の約0.3倍である。宮崎市(18.4), 中央(14.5)保健所からの報告が多く, 5～9歳が全体の約4割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は1,840人(51.1)で前月及び例年の約0.8倍である。小林(112.0), 日南(85.0)保健所からの報告が多く, 1～4歳が全体の約5割を占めている。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は448人(12.4)で前月の約0.8倍, 例年の1.1倍である。延岡(24.3), 高鍋(18.0)保健所からの報告が多く, 3～8歳が全体の約7割を占めている。

■月報告対象疾患の発生動向(2018年12月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数: 13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で, 前月比103%とほぼ横ばいであった。また, 昨年12月(2.6)の94%である。

《疾患別》

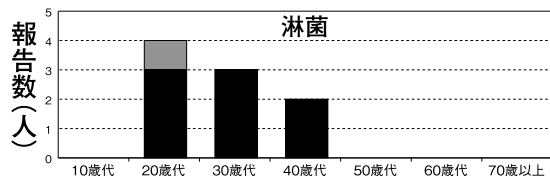
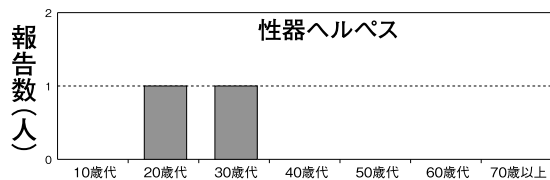
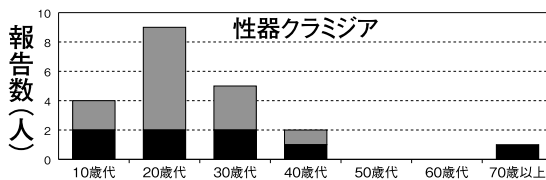
○性器クラミジア感染症: 報告数21人(1.6)で, 前月及び昨年12月の約1.1倍である。

20歳代が全体の約4割を占めている。(男性8人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症: 報告数2人(0.15)で, 前月及び昨年12月の約0.3倍である。(女性2人)

○尖圭コンジローマ: 報告なし。

○淋菌感染症: 報告数9人(0.69)で, 前月の3.0倍, 昨年12月の1.8倍である。(男性8人・女性1人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数: 7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で, 前月比121%と増加した。また, 昨年12月(1.9)の131%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 報告数17人(2.4)で, 前月の約1.2倍, 昨年12月の約1.3倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告なし。

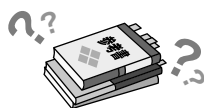
(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2018年12月		2018年11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	687	11.6	44	0.8	
RSウイルス感染症	52	1.4	34	1.0	
咽頭結膜熱	122	3.4	136	3.9	
※溶レン菌咽頭炎	448	12.4	527	15.1	
感染性胃腸炎	1,840	51.1	2,131	60.9	
水痘	109	3.0	70	2.0	
手足口病	66	1.8	126	3.6	
伝染性紅斑	67	1.9	28	0.8	
突発性発しん	126	3.5	148	4.2	
ヘルパンギーナ	20	0.6	66	1.9	★
流行性耳下腺炎	25	0.7	40	1.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	104	17.3	111	18.5	★
細菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.1	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は73ページ)

- 高アンモニア血症をきたす疾患はどれか。
 - Gaucher病
 - von Gierke病
 - Hurler病
 - メーブルシロップ尿症
 - オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症
- 検査前確率〈事前確率〉が変わると変化するのはどれか。
 - 感 度
 - 特異度
 - 適中度〈的中度〉
 - 偽陰性率
 - ROC曲線
- 胆道疾患と治療の組合せで正しいのはどれか。**2つ選べ。**
 - 急性胆管炎——内視鏡的胆道ドレナージ
 - 急性胆嚢炎——腹腔鏡下胆嚢摘出術
 - 肝門部胆管癌——経皮的胆嚢ドレナージ
 - 胆嚢筋腫症——内視鏡的十二指腸乳頭切開術
 - 先天性胆道拡張症——経皮的胆道ドレナージ
- 角結膜のウイルス性疾患はどれか。**2つ選べ。**
 - 乾性角結膜炎
 - 樹枝状角膜炎
 - 流行性角結膜炎
 - 巨大乳頭結膜炎
 - フリクテン性角結膜炎
- 疾患と症状の組合せで誤っているのはどれか。
 - 心気症——身体的愁訴
 - うつ病——心気妄想
 - 強迫性障害——作為体験
 - 統合失調症——妄想知覚
 - 心的外傷後ストレス障害(PTSD)——過覚醒
- 平成27年(2015年)の人口動態統計における死亡の場所別にみた割合を示す。

死亡の場所	ア	イ	ウ	エ	オ	その他
割合(%)	74.6	12.7	6.3	2.3	2.0	2.1

 (イ)はどれか。
 - 自 宅
 - 病 院
 - 診療所
 - 老人ホーム
 - 介護老人保健施設
- 不正性器出血をきたす可能性が低いのはどれか。
 - 子宮頸癌
 - 萎縮性陰炎
 - 子宮内膜癌
 - 子宮内膜症
 - 子宮粘膜下筋腫
- 関節リウマチの治療標的となるサイトカインはどれか。**2つ選べ。**
 - IL-4
 - IL-5
 - IL-6
 - TGF- β
 - TNF- α
- 45歳の男性。精神科閉鎖病棟を含む複数の診療科のある病院内で、廊下に座り込んでいるところを保護された。病院事務員が話を聞くと、その病院の精神科に通院している患者であること、統合失調症と診断されていること、単身で生活しており、すぐ連絡のとれる家族はいないことが分かった。患者は「自分は病気ではない。『しばらくこの病院の廊下で寝泊まりするように』という声が聞こえてきたから、廊下で寝る場所を探していた」と述べた。患者から話を聴いている現場には内科当直医、精神保健指定医の資格をもつ精神科医、当直の事務員がいる。精神科医の診察の結果、入院が必要であると判断された。精神科医が入院治療の必要性について繰り返し説明したが、患者は拒否し「このまま病院の廊下で寝泊まりする」と主張し譲らなかった。
 現時点で最も適切な入院形態はどれか。
 - 任意入院
 - 措置入院
 - 応急入院
 - 医療保護入院
 - 緊急措置入院
- 52歳の男性。全身浮腫と夜間の呼吸困難を主訴に来院した。42歳時に糖尿病と診断され、インスリンの自己注射を行っている。2年前から蛋白尿と血清クレアチニンの高値を指摘されている。2か月前から次第に下腿浮腫が増悪し、3日前から臥位になると息苦しくなったため受診した。身長 170cm、体重 85kg。脈拍 88/分、整。血圧 190/100mmHg。呼吸数 24/分。全身に浮腫を認める。血液所見：赤血球 323万、Hb 9.2 g/dL、Ht 28%、血小板 26万。血液生化学所見：総蛋白 6.4g/dL、アルブミン 3.0g/dL、尿素窒素 88mg/dL、クレアチニン 9.0mg/dL、尿酸 8.6 mg/dL、血糖 116mg/dL、HbA1c 6.3% (基準4.6~6.2)、Na 141mEq/L、K 5.0mEq/L、Cl 110 mEq/L、空腹時 C ペプチド 1.2ng/dL (基準 0.6~2.8)。
 この患者が適応にならない治療はどれか。
 - 血液透析
 - 腹膜透析
 - 生体腎移植
 - 心停止後献腎移植
 - 脳死腎同時移植

メディアの目



3度目の亥年の選挙イヤー

MR T宮崎放送 報道部長

い が ゆき ひろ
伊 賀 透 浩

立候補しているのは「無所属，チンジンの…」。ニュースを伝えて，スタジオからデスクに戻ると，先輩記者が「こらっ！ちゃんと読め！確かに珍人だが…」と激怒。

アナウンサー駆け出しの頃，発音が甘く「シ」が「チ」に聞こえてしまったという苦い思い出である。

今年は，4年に1度の「統一地方選」と3年ごとの「参院選」が重なる，12年に1度巡ってくる亥年の選挙イヤーだ。

私が，報道の世界に飛び込んだのも1995年，平成7年も亥年。

右も左もわからない新人は，選挙速報を伝える先輩キャスターに，次から次へと入って来る最新情報をコピーし，ひたすら手渡したことを覚えている。その姿は，うり坊のように，さぞ可愛かったことだろう。

その後，世間の荒波にもまれ，「不条理」に立ち向かう小さな？角や牙も生えそろい，様々な選挙取材を経験する中で，最も印象に残っているのは，2009年の衆院選だ。

当時，私は，長崎で県政記者とニュースキャスターを兼務していたが，衆院選長崎2区で薬害肝炎九州原告団の元代表で民主党新人の福田衣里子氏が元防衛相で10選を目指した自民党の現職，久間章生氏を破り初当選。

まさに「風」が吹いた瞬間，「政権交代」を

象徴する戦いを目の当たりにした。

選挙特番を終え，日付が変わった午前3時頃，帰宅途中コンビニエンスストアへ立ち寄ると，新聞コーナーで朝刊を待つ，20代と思われる若い女性たちの姿が。

今回の選挙は，若者たちにも，こんなに関心が高かったのかと，感心しながら帰宅した。

その後，地元紙の朝刊を手にしてわかったのは，コンビニで彼女たちが求めていたのは，「政権交代」を伝える記事ではなく，選挙の開票日に稲佐山で行われた「福山雅治のライブ」の写真。

若い女性が選択したのは，「政権」ではなく「凱旋」だった。

余談ではあるが，この選挙取材で長崎市から諫早市にJRと徒歩で足繁く通ったが，ある日，シャッターが目立つ商店街に黒塗りの高級車が現れた。突然の選挙応援？？？搭乗者に視線を送ると，東京から注目区取材に来たあの滝川クリステルさんだった。地方局と東京キー局の“格差”を感じた選挙でもあった。

さて，去年12月の宮崎県知事選の投票率は，過去最低の33.9パーセント。

高まらない有権者の関心。

巡り巡って迎える3度目の亥年の選挙イヤー。

どんな結果が待っているのか。

各郡市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

「地域医療構想」「地域包括ケア」という2つの大きな課題に、地域ぐるみで取り組んでいるところ。「地域医療構想」は病床数の調整により、最終的に決着可能な課題と考えています。「地域包括ケア」は地域ごとに様々な形態があり得るので、これが最終形というものがないと考えます。

「地域包括ケアシステム」の目標については、医療・介護・福祉に携わる者なら充分理解、認識しているとのことですが、その体制構築にあたっては、受益者となる住民にどれだけ深く理解していたくかがすごく重要だと思います。

日南市では、在宅医療・介護連携に関するシンポジウム・市民講座を開催したり、地域医療リーダー養成講座『日南塾』、地域医療出前講座等を継続的に開催して、地域住民への普及啓発に取り組んでいます。『日南塾』は、多世代の住民の方と医療者との交流の場を設け、地域の医療や介護の現状を伝える場として5期を数え、塾生OBが『にちなみ医療市民サポーターズ』という市民団体を設立して地域医療を守り育み、住みよい街づくりをめざした活動を始めています。住民全体に波及するには、まだまだ遠い道のりですが地道な活動が少しずつ始まり、成果が期待されます。

(中村 彰伸)

日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

昨年12月27日(木)に、当地域の地域医療構想調整会議が日向保健所で開催されました。

会議に先立ち、当医療圏の医療供給体制で不足していると思われる点について、先生方にアンケート調査をさせていただいたところ、意見の多くが医師不足に起因する内容のものでした。

また、2025年において想定される当医療圏の医療供給体制に対しては、患者の高齢化に対応する医療や、介護施策に関する内容のものでした。

いただいた意見をもとに、人口減少や高齢化に対応する医療供給体制を、行政と連携して構築していきたいと考えています。

(千代反田 晋)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

現在、西都市西児湯医師会では、西都児湯医療センターの新病院開設をどのような規模で体制も含めてやっていくのが問題になっています。医師会としては、救急医療を中心に西都市民のためにやって欲しいと言っていますが、計画書を見るとベッド数91床(急性期を50床、地域包括病棟を35床、緩和ケア病棟を6床)開設したいとのことで、意見が分かれております。また、できるだけ早く建設を希望されておりますが、オリンピックが2年後に開催されるため建築費がものすごく高くなっているため、医師会としてはオリンピックが終わって落ち着いてからでも遅くはないのではと思っています。あとは、西都市長がどう決断されるかだと思います。

(鶴田 明土)

西 諸 医 師 会

キーワード：九州ワースト，少子化，60年

西諸医師会立小林准看護学校はこの春創立60年を迎えます。しかし，少子化の影響で管内からのみならず近隣の都城市高崎町などからも学生を受け入れています。学生が利用する吉都線はその収支が九州ワーストで，前回のダイヤ改定でも減便となり大きな影響が出ています。近頃，米国内の投資ファンドがJ R 九州株を取得しました。採算重視のための地方路線切り捨てが危惧されます。学校存続のみならず地方存続のためにはなんらかの処方箋が必要です。

(花田 武浩)

児 湯 医 師 会

児湯准看護学校は，今年も学生を募集し入学試験を行いました。

本校は，日本一小さな准看護師養成学校です。しかし卒業生は准看護師として地域の住民の健康維持に貢献しています。地方の医療には，准看護師は欠くことのできない重要な職業です。地方の准看護師の仕事の重要性を国・県の行政の方々には，認識されているのか疑問を持たざるを得ません。

児湯准看護学校はもとより，医師会立の准看護学校は多額の赤字を抱えて地域住民の健康の維持に携わっている准看護師を養成，そのことが地域住民の幸福に繋がると信じて赤字経営をしています。この事実を国・県は認識すべきと思っています。

(坂田 師隣)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

当医師会では，14名の学童心臓検診委員，7名の学童腎臓検診委員が，都城健康サービスセンター学童検診係と協力して，小・中・高校一年生の心臓，腎臓検診を行っています。委員のまとももあり，学童検診係職員や学校現場との

意思疎通も良好で，引き継がれてきた今のシステムが維持していけると良いと思います。ただ，少子化に伴い年々予算も減ってきており，心電計の更新などの余裕がなくなっているようです。県立の学校は，市・町立の学校より検診単価が安く，県に増額をお願いしたいところです。

(丸山 浩一)

延 岡 市 医 師 会

延岡市医師会病院にまつわる最近の出来事です。

- ① 医師会職員に対する給与体系の再構築，人事考課制度の構築，職員の意識改革を目的に労務コンサルティング業務を委託しました。
- ② 地域医療構想連絡協議会が最終段階に向かっていますが，延岡市医師会病院は2病棟あるうちの1病棟を地域包括ケア病棟に変換していく予定です。
- ③ 人手不足が深刻になり，特に調理員の確保ができなくなったため，8月より給食業務を外部業者に委託いたしました。

また，看護師，看護助手の不足も厳しく，頭を悩ませています。

(佐藤 信博)

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会病院等移転新築工事は，昨年12月末までに掘削工事及び地盤改良工事，一部基礎工事が始まり，建物が建つ敷地の形が見え始めたところです。新病院では免震構造の建設が計画されておりますが，10月，免震ダンパーの検査データの不正が発覚し，納期やコスト，建設スケジュール等への影響が懸念されてきました。先日メーカーの今後の対応として第3者機関による全数検査が決まり，製品出荷再開見込みとなりましたので，建設スケジュールも順調に進むと思われます。

(原田 雄一)

宮崎大学医学部だより

感染症学講座 —免疫学分野—



さとう かつあき 教授
佐藤 克明 教授

宮崎大学医学部医学科
感染症学講座免疫学分野
を担当しております。こ
の場を御借りして謹ん
でご挨拶申し上げます。

平成25年3月より教授
を拝命し、同分野を開講

してはや5年を迎えました。宮崎県医師会なら
びに宮崎大学医学部の諸先生の多岐に渡るご支
援を賜り、教育・学術活動に専念できましたこ
とを大変嬉しく思い、心から御礼申し上げます。

現在、講座では学部准教授3名、事務補佐員
1名、技能補佐員1名の教室員が在籍しており、
臨床系講座より医学獣医学総合研究科博士課程
大学院生4名を受け入れております。

当講座は、免疫系の司令塔として作用する白
血球である“樹状細胞”を研究対象として、微
生物感染やがんに対する生体防御機構とともに
自己免疫疾患やアレルギー、移植片拒絶反応な
どの免疫疾患の発症・増悪機構の解明について
研究をおこなっております。さらに、これらの
成果に基づいて、微生物感染やがんに対する新
規ワクチン、免疫疾患に対する疾患特異的治療
法の開発へ繋がる応用研究を推進しております。

着任後の研究成果として、「通常型樹状細胞
のC型レクチン受容体Clec4A4を介した免疫
応答制御」(Nature Communications 誌)、「形
質細胞様樹状細胞による慢性炎症性自己免疫
疾患の制御」(Scientific Reports 誌)、「形質細
胞様樹状細胞による炎症性腸疾患疾患の制御」
(Mucosal Immunology 誌)、「好塩基球による
アナフィラキシーの制御」(Biochemistry and
Biophysics Reports 誌)、「形質細胞様樹状細胞

による経口免疫寛容の誘導とアレルギー発症阻
止」(Journal of Allergy and Immunology 誌)、
「インターロイキン22結合タンパク質による乾
癬発症阻止」(Frontiers in Immunology 誌)
の論文が掲載されました。また、これらのプレ
スリリースにより社会に情報を発信し、幸いにも
私自身記憶に残る反響を幾つか頂くことが
出来ました。特に、「通常型樹状細胞のC型レ
クチン受容体Clec4A4を介した免疫応答制御」
に関する研究については、平成28年度(第52回)
宮崎日日新聞賞「科学賞」(平成28年10月21日)
が授与され、今後の研究活動へのさらなる弾み
となりました。また、「形質細胞様樹状細胞に
よる炎症性腸疾患疾患の制御」と「好塩基球に
よるアナフィラキシーの制御」に関する研究に
より、臨床系講座から受け入れておりました博
士大学院生2名に博士学位(医学)が授与され
ました。引き続き、博士学位取得希望者の研究
指導を行い、リサーチマインドを有する医師・
歯科医師の育成に取り組みたいと考えております。

教育活動については医学科新カリキュラムへ
の移行により平成27年度から2年生の免疫学・
生体防御学の授業を担当しております。講義で
は学生にとって免疫学基礎知識の充分な習得を
目指し、さらに将来的に医療の現場で役立てる
ように創意工夫を常に心掛け、教育内容の充実
に取り組んでおります。また、本学教員教育活
動表彰の一環として、平成27年度宮崎大学教員
教育活動表彰者(平成27年9月15日)が授与さ
れたこともあり、医学教育の重要性を顧み、本
医学科からの優秀な医療人の輩出に寄与できれ
ばと思っております。

最後になりましたが、宮崎県医師会ならびに
宮崎大学医学部の諸先生には当講座が宮崎大学
医学部での教育・学術活動に、引き続き貢献で
きますようご指導とご鞭撻を賜りましたら幸甚
でございます。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

医師会立看護学校担当理事連絡協議会

と き 平成30年12月20日(木)

ところ 県 医 師 会 館



佐々木(幸)常任理事の司会により開会。河野会長から挨拶があり、佐々木(幸)常任理事の進行で報告と協議に入った。

報 告

- 1) 平成31年度県に対する要望事項について
- 2) 平成29年度看護学校卒業生および平成30年度入学生の状況について
- 3) 医師会立看護学校卒業生就業状況(平成17～28年度)について
- 4) 医師会立看護学校運営状況について
- 5) 第49回中四九地区医師会看護学校協議会について

協 議

- 1) 看護学校に関する問題点について
(運営費補助金、入学時の定員緩和、実習施設の確保、施設整備等)

看護学校を取り巻く複合的な問題について、各学校より現状をご報告いただき、情報交換を行った。

18歳人口の減少を受け、各校とも入学者の減少が問題となっており、来年度から定員縮小を行う課程もあるとの報告があった。課程変更については、他県の様子を見

ながら、慎重に検討が行われている。また、学力の問題から退学する学生が多いことも課題となっており、准看護師課程のカリキュラム再編成における教員負担の増加についても懸念が挙げられた。

延岡、日向では将来を展望するための委員会が立ち上げられ、災害時の代替教室の確保や防災マニュアルの策定が行われていることなどが報告された。

卒業生の県内定着率については、医師会立養成校は7割を保っているが、より定着率の高い社会人入学者についても、オープンスクールを行うべく企画が上がっている。

県からは、平成25年度と平成29年度を比較した際、18歳人口は10%の減少だが、看護学校への入学者は25%の減少であるとの報告があった。景気が上向きになっており、他の職種へ目が向いているのではないかと考察があり、成り手確保のための取り組みが必要であるとの認識が確認された。補助金については、現状維持を図るとの報告があった。

2) その他

都城看護専門学校より、学校間の連絡調整をスムーズに行うべく、担当者間の連絡網を構築したい旨、要望が上がった。具体的な方法について、また検討していく。

出席者

(宮崎) 済陽校長, 弘野・白尾副校長,

井上事務長, 滝川事務主事

(都城) 檜原校長, 永吉副校長, 原口課長,

乾事務主任

(延岡) 野田校長, 金井理事, 門田副校長,
井野内事務長

(日向) 松岡校長, 高野事務長

(児湯) 黒木事務長, 鍋倉教務主任

(西諸) 遊木事務局次長, 藤橋事務職員

(県医療薬務課) 松尾副主幹, 岩田主査

(県医師会) 河野会長, 山村副会長,

佐々木(幸)常任理事,

立元・米澤・赤須理事,

牧野課長, 横山主事

1 月のベストセラー (宮崎県)

集計：2019年 1 月 1 日～1 月25日

1	日本国紀	百	田	尚	樹	幻	冬	舎
2	一切なりゆき	樹	木	希	林	文	藝	春 秋
3	奈緒と聲音	佐	伯	泰	英	文	藝	春 秋
4	トラベジウム	高	山	一	実	KADOKAWA		
5	マスカレードホテル	東	野	圭	吾	集	英	社
6	国家と教養	藤	原	正	彦	新	潮	社
7	十二人の死にたい子どもたち	沖	方	丁	文	藝	春 秋	
8	府中三億円事件を計画・実行したのは私です。	白			田	ポ	プ	ラ 社
9	メモの魔力	前	田	裕	二	幻	冬	舎
10	「日本国紀」の副読本	百	田	尚	樹	産経新聞出版		

日医インターネットニュースから

■消費税改定，特定入院料4分類で配点へ — 初再診料は5.5%上乘せ —

中医協「医療機関等における消費税負担に関する分科会」（分科会長＝荒井耕・一橋大学大学院教授）は1月9日，10月に予定される消費税率10%への引き上げに伴う診療報酬改定についての財源配分の考え方を確認した。入院医療の配点では，まず特定入院料を4分類し，親和性の高いと考えられる入院基本料と同じ分類とした上で，それぞれ補填点数の上乗せ率を算出することなどを提案。診療側，支払い側からは，提案への強い反対意見はなく，中医協総会に報告される。

厚生労働省はこの日の分科会で，特定入院料は種類が多く，病院ごとに算定する項目も多様なため，新たに特定入院料の機能を踏まえて4つに分け，親和性の高いと考えられる入院基本料を組み合わせると同じ分類とすることを提案。その上で，特定入院料の入院料シェアおよび上乗せ率を算出した上で，入院基本料ごとの入院料シェアおよび上乗せ率を算出するとした。

●配点上乗せ率 急性期一般「4.8%」

具体的な分類の考え方は，▽「分類Ⅰ」＝急性期一般入院料（旧一般病棟7対1，10対1入院基本料）と救命救急入院料1などの組み合わせ▽「分類Ⅱ」＝地域一般入院料（旧一般病棟13対1，15対1入院基本料）と回復期リハビリテーション病棟入院料1など▽「分類Ⅲ」＝精神病棟（10対1，13対1）入院基本料と精神科救急入院料1など▽「分類Ⅳ」＝精神病棟（15対1以下）入院基本料と精神療養病棟入院料などーの4分類。

配点の上乗せ率は分類Ⅰが4.8%，分類Ⅱ4.0%，分類Ⅲ2.6%，分類Ⅳ2.2%を提示した。4分類以外の入院基本料の上乗せ率では，療養病棟入院基本料が1.5%，特定機能病院入院基本料が8.8%などとした。一方，初・再診料の配点について上乗せ率は5.5%とすることを提案。ただ，実際の配点では点数の整数化などの

調整を行うことなどの留意点も示された。

厚労省の提案に対し，日医の中川俊男副会長は「10月に配点され，その結果が正しいかどうかは，いつ分かるのか」と質問。厚労省は「課税経費と収入の両面から，1年度分は見なければ分からない」と答えたが，中川副会長は「21年度の医療経済実態調査を踏まえれば2年半は待たなければいけないのか。速やかにやる意気込みを見せていただきたい」などと求めた。保険局の森光敬子医療課長は「増税後，1年間の実績を調査し21年秋には結果が出る。そこで早急に検討させていただく」とし「実際にどう算定されているかなども見ていくことができるのではないかと」理解を求めた。（平成31年1月11日）

■時間外労働の特例，最大2000時間に賛否 — 働き方検討会 —

厚生労働省は1月11日の「医師の働き方改革に関する検討会」に，2024年4月に始まる医師の時間外労働の上限規制時間数について，地域医療の確保に必要な医療機関は2035年度末までの「暫定特例水準」として「年1900～2000時間程度以内」で検討することを提案した。構成員からは賛否双方の意見が出た。次回も議論を継続する。

厚労省は，24年度から適用される時間外労働の上限規制を▽原則となる「診療従事勤務医に適用される水準」＝960時間▽「暫定特例水準」＝1900～2000時間ーと提案した。もう1つの特例となる「医療の質の維持・向上の観点で必要な医師」については，まだ上限時間を示していない。特例2つはどちらも医療機関を特定し，28時間の連続勤務時間制限と，9時間の勤務間インターバル確保，代償休暇のセットを義務化する。

厚労省の調査によると，時間外労働を年間1920時間超行っている病院勤務医は，約2万人存在する。最大2000時間の提案は「罰則付きで超えてはならない水準」のため，提案が実現す

ればその2万人は全員が暫定特例水準以下の労働時間になる計算だ。960～1900時間程度の時間外労働は約6万人で、これも960時間以内を目指して取り組む。

暫定特例水準が適用される医療機関は、「2次・3次救急医療機関や在宅医療を積極的に担う」「都道府県の医療計画で計画的な確保を図っている」「専門的な技術が求められ代替困難」といった医療機関を基本とする。必要なタスク・シフティングについても、事実上、義務化する方針だ。

こうした案に、日医の今村聡副会長(日本医師会女性医師支援センター長)や赤星昂己構成員(東京女子医科大東医療センター救急医)など、医療側の構成員は賛同した。

ただし、大学病院の約9割に1920時間超の医師がいるというデータがあることから「医療の質を担保しながらタスク・シフティングなどができるかどうかを現場は懸念している。一時的にでも質が低下することは容認されるのか」(山本修一構成員・千葉大医学部付属病院長)と、賛成しつつも、労働時間の短縮により医療の質が下がることへの懸念も出た。

他方、労働側を代表する村上陽子構成員(連合総合労働局長)と森本正宏構成員(全日本自治団体労働組合総合労働局長)は「いつ労災が起きてもおかしくない上限時間」などと反対した。

(平成31年1月18日)

■医療体制、地域医療の関係者で協議を — GW10連休で厚労省通知 —

厚生労働省は1月15日付で、皇位継承に伴う

10連休中の医療提供体制の確保に関する通知を、都道府県などに発出した。医政局、医薬・生活衛生局、障害保健福祉部の3部局長の連名。連休中の医療提供体制を2月中旬を目安に把握し、医療関係者や卸売販売業関係者、住民らに十分に周知するよう求めた。

通知では、医師会などの医療関係者、医薬品・医療機器の卸売販売業関係者、行政機関などが有機的に連携して対応することが求められるとし、あらかじめ関係者で協議し、体制を決めておくことが必要と明記。2次医療圏ごとの協議会の開催や、地域の医師会・歯科医師会・薬剤師会、個別の医療機関への照会などを通して救急に対応する医療機関などの情報を把握するよう求めている。

体制確保に向けては、早期に情報共有し、病院群輪番制度や在宅当番医制度、当番薬局制度などに参画していない医療機関の参画も促すよう要請した。病床が満床となり、患者の引き受け先が必要になった場合の対応方針や、地域の医療関係者らが連絡を取ることができる体制を整えておくことも求めた。

在宅医療を実施する医療機関には、自施設が休診する場合に対応できる他医療機関を確保できるよう、医師会などを通じて事前に調整しておくべきとした。患者に対しても連休中の自施設の連絡先や休診時に対応してくれる医療機関の連絡先の周知が必要とした。特に人工呼吸器、酸素供給装置を使用している患者には取り扱い事業者の連絡先を周知しておくよう促した。

(平成31年1月18日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

第23回歩こう会について（予告）

開催日 平成31年3月24日(日)

場 所 フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎市)

保健事業の一環として、毎年恒例の「歩こう会」を実施します。

時間等の詳細については、後日、組合員宛にお知らせしますので、その際にお申込みください。

保健事業のご案内

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成31年3月末日までです。身体の状態をチェックする機会として、ぜひご利用ください。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※上記対象者は自院で実施されても請求できます。 費用については、送付しております「健康診断個人票」の検査項目に対して助成します。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診、内視鏡検査は実施できません。 (予約は当組合に直接お電話ください。先着順ですので、受診を希望される方はお早目の予約をお願いします。) ①実 施 日：平成31年2月17日(第3日曜日)、3月3日(第1日曜日) ②定 員：各30名

2 その他保健事業

胃・大腸内視鏡検査の補助	低線量ヘリカルCT肺がん検診
脳ドック等の補助	歯科健康診査
インフルエンザワクチン接種補助	肺炎球菌ワクチン接種補助

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。(http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/)

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550



平成30年12月 4 日(火)第12回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 職員の冬季手当支給について

宮崎県人事委員会の勧告等を参考に、職員給与規程等に基づき、期末・勤勉手当を12月10日(月)に支給することが承認された。

2. 管理職調整手当(平成30年12月)の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末勤勉手当に併せて支給することが承認された。

3. 平成31. 1 /15(火)(日医)平成30年度第3回都道府県医師会会長協議会の開催について

河野会長が出席することが承認された。また役員で提出議題がある場合は事務局に申し出ることとし、その取扱いは河野会長に一任することとなった。

4. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県女性医師等キャリア支援連絡協議会委員の就任について

→全国医学部長病院長会議が厚生労働省の女性医師等キャリア支援モデル全国事業に採択されたことにより、各都道府県に設置される協議会で、荒木常任理事が委員に就任することが承認された。

5. 後援・共催名義等使用許可について

①「第13回小児在宅医療実技講演会」に対する後援名義使用の許可について

→小児在宅医療に対する実際のケアの手順や評価方法を学ぶことを目的に開催する講演会で、名義後援を行うことが承認された。

6. 5/25(土)(宮観ホテル)講師派遣依頼について
県柔道整復師会から、会員の資質向上を目的に開催する学会の特別講演講師の派遣依頼があり、県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。

7. 日医社会保険診療報酬検討委員会の諮問事項に対するご意見等について

平成30年度診療報酬改定の評価について、九州ブロックで取りまとめを行うための依頼で、郡市医師会、専門分科医会、本会役員に意見を募集することが承認された。

8. 国保審査員の推薦について

選任基準に従い、本会及び郡市医師会並びに専門分科医会から出された委員、保険医代表15名、保険者代表15名、欠員に伴う公益代表候補1名を推薦することが承認された。

9. 審査委員の推せんについて

委員の医療機関退職(県外転出)に伴う任期途中の推薦依頼で、推薦母体の県内科医会に後任の人選をお願いすることが承認された。

10. 風しん抗体検査事業協力医療機関の募集について

風しんの流行状況を踏まえ、宮崎県が平成31年1月から無料で風しん抗体検査事業を実施するもので、協力医療機関の募集及び周知活動に協力することが承認された。

11. 第32回宮崎県医師会医学賞の推薦について

県医師会医学賞選考委員会から推薦された、光川知宏先生の「入院通院中の高齢者糖尿病患者におけるサルコペニアの合併頻

度、およびその臨床的特徴」(県医師会医学会誌第41巻第2号)を医学賞とすることが承認された。

(報告事項)

1. 11月末日現在の会員数について
2. 11/30(金)(宮舘ホテル)第一生命保険との懇談会について
3. 12/3(月)(県医)県医中間監事監査について
4. 12/1(土)(ニューウェルシティ宮崎)第3回ふれあいパーティーについて
5. 12/4(火)(県医)治験審査委員会について
6. 11/30(金)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
7. 11/19(月)・26(月)(県医)生活習慣病検診従事者研修会について
8. 11/28(水)(合同庁舎)宮崎地方労働審議会について
9. 11/29(木)(県医)情報通信訓練/衛星利用実証実験(南海トラフ大震災想定訓練)について
10. 11/29(木)(県医)県感染症危機管理研修会について
11. 11/30(金)(県医)認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
12. 11/28(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
13. 12/2(日)(東京)全国有床診療所連絡協議会役員会について
14. 11/28(水)(県医)医学賞選考委員会について
15. 12/1(土)(日医)家族計画・母体保護法指導者講習会について
16. 11/29(木)(小林市)社会保険医療担当者の個別指導について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 平成31.1/15(火)(日医)執行委員会開催について
平成29年度収支決算及び平成31年度負担金基準額並びに参議院比例代表選挙について

協議する執行委員会で、河野委員長及び吉田常任執行委員が出席することが承認された。

2. 壹岐定憲氏旭日単光章受章 祝賀名刺広告
ご協賛のお願いについて

県経済農協協同組合連合会副会長を務められ、叙勲(農業振興功労)を受章された壹岐氏の祝賀ではあるが、今回は協賛を見送ることが承認された。

(報告事項)

1. 12/1(土)古川衆議院議員への税制改正要望について
2. 12/1(土)(宮崎長峯事務所)長峯参議院議員との面談について
3. 12/1(土)(県医)松下参議院議員との面談について

平成30年12月18日(火)第13回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県小児慢性特定疾病審査会委員の推薦及び就任について
→小児慢性特定疾患治療研究事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的に設置された審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き高村常任理事及び三宅和昭先生を推薦することが承認された。

- ②宮崎県指定難病審査会委員の推薦及び就任について
→支給申請等の医学的審査を行う会で、任期満了に伴い神経内科及び皮膚科領域の推薦依頼があり、再任の方向で現職の意向を確認することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①平成31.2/3(日)(シーガイア)平成30年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会

研究大会の名義後援について

→「『共生社会』の実現に向けて～地域で支える見守る～」をテーマに開催される研究大会で、名義後援を行うことが承認された。

- ②平成31. 2 /14(木)(メディキット県民文化センター)第5回宮崎県民生委員児童委員大会に対する後援名義の使用許可について

→制度創設100周年記念事業の成果を踏まえ、今後の民生委員・児童委員活動の一層の充実を目指すことを目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

- ③平成31. 3 /9(土)(福岡市)「地域共生社会の構築に向けた九州・沖縄研究大会」に係る後援について

→地域包括ケアシステムをはじめとする地域共生社会の構築が大きな課題となっている中、今後、九州・沖縄全域における取組みを加速させるために開催する研究大会で、名義後援を承認することが承認された。

3. 平成31. 2 /2(土)九州医師会連合会第375回常任委員会の提案事項について

各種協議会と同日開催される常任委員会で、役員で提出議題があれば、年内に事務局に提出すること及びその取扱い、河野会長に一任することが承認された。

4. 平成31. 4 /6(土)・7(日)(鹿児島市)九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに第3回九州ブロック災害医療研修会の開催について

今後、日本医師会のJMAT研修(基礎編・統括編)のカリキュラムを踏まえた上で、九医連の企画立案を行う協議会等で、救急及び災害担当の池井常任理事と佐々木(幸)常任理事が要望等の取りまとめを行うこと

が承認された。

5. 「九州医師会連合会平成30年度第2回各種協議会」等の提案事項に対する回答について

九州各県医師会から出された提案事項に対する回答依頼で、医療事故調査制度担当理事連絡協議会は濱田副会長、地域包括ケアシステムは石川常任理事、地域医療は金丸常任理事、医療保険は小牧常任理事、介護保険は石川常任理事が中心となって回答の取りまとめを行い、期日までに回答することが承認された。

6. 各都市医師会長協議会について

1月15日に開催される都道府県医師会長協議会の報告等を中心に開催する協議会で、1月29日に開催することと都市医師会に提出議題等を照会することが承認された。

7. 業務委託について

- ①医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について

→医療従事者の離職防止や定着促進等を図るために、計画的に勤務環境の改善に取り組む医療機関に対して総合的な支援を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

- ②風しん抗体検査事業の委託契約について

→風しんの流行に伴い、県民(宮崎市民を除く)で妊娠を希望する女性とその配偶者等を対象に抗体検査(EIA法(IgG)又はHI法)を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

8. 平成31年度の特健康診査等の集合契約書に係る提案について

診療報酬に伴う委託料単価(基本的な健診項目8,410円、貧血検査226円、心電図検査1,404円、眼底検査1,209円、血清クレアチニン及びeGFR119円)で、平成31年4月1日の契約締結に向け準備を進めることが承認された。

9. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

日之影町国保病院の辞退に基づく推薦依頼で、新たに高千穂町国保病院を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/12(水)(宮大)宮大経営協議会・学長選考会議について
3. 12/5(水)(ホテル中山荘)都城市北諸県郡医師会忘年会について
4. 12/11(火)(エンシティホテル延岡)延岡市医師会会員忘年会について
5. 12/17(月)(和み処正)西都市西児湯医師会忘年会について
6. 12/12(水)(県医)妊婦健診等に関する協議会について
7. 12/7(金)(日医)日医医師会共同利用施設検討委員会について
8. 12/7(金)(県医)向精神薬の長期処方に関する研修会について
9. 12/13(木)(日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について
10. 12/5(水)(県医)自殺対策うつ病研修会について
11. 12/9(日)(日医)女性医師支援担当者連絡会について
12. 12/14(金)(県医)広報委員会について
13. 12/17(月)(宮大医学部)地域医療における働きやすい環境を考える会学生向けセミナーについて
14. 12/8(土)(県医)県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会について
15. 12/15(土)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
16. 12/6(木)(日医)日本糖尿病対策推進会議総会について

17. 12/7(金)(宮大医学部)医師キャリア形成及び宮崎県地域医療の充実に向けた関係者協議について

18. 12/15(土)・16(日)(シーガイア)指導医及び臨床研修事務担当者のための教育ワークショップについて

19. 12/12(水)(労働局)宮崎県地域両立支援推進チーム(協議会)について

20. 12/14(金)(日医)日医産業保健委員会について

21. 12/6(木)(小林市)社会保険医療担当者の個別指導について

22. 12/13(木)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

23. 12/13(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会
(報告事項)

1. 12/18(火)(シーガイア)医協理事会について
医師連盟関係

(議決事項)

協 議

1. 12/19(水)(宮崎市民文化ホール)河野しゅんじ総決起大会(個人演説会)について

県知事選挙の選挙期間中、宮崎市で開催される総決起大会で、河野会長が出席し支援団体として登壇することが承認された。

2. 宮崎県知事選挙投票啓発運動について

今回の選挙は事実上、信任投票の意味合いが強いと言われているものの過去最低の投票率も懸念されることから、医療機関に対して、投票啓発のファックスを送ることが承認された。

3. 推薦のお願いについて

2019年夏に予定される参議院議員通常選挙(宮崎県選挙区)について、現職の長峯誠議員から推薦願が出されたことから、1月5日に開催する県医師連盟執行委員会で協議することが承認された。

4. 平成31. 2/15(金)(宮観ホテル)自民党宮崎市支部新春政経懇談会について

政治資金規正法第8条の2に規定する懇談会で、たけい俊輔事務所を経由しての依頼であることから、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 12/6(木)(河野事務所)河野候補陣中見舞いについて

平成30年12月25日(火)第17回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県依存症対策推進協議会における委員の推薦について

→各種依存症の支援体制やネットワークの確立を目指し新たに設置される協議会で、吉田常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会検証部会委員の推薦及び就任について

→児童虐待等による重大事例の検証等を行う部会で、委員の辞任に伴う推薦依頼があり、高村常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①2/16(土)(県立産業技術専門学校)『市民公開講座(学術講演会)』ご後援のお願いについて

→生活習慣病糖尿病対策「あなたはいつ始めるの?」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②4/21(日)(宮観ホテル)名義後援について

→創立50周年を記念し一般市民を対象に開催する講演会で、現行の本会后援名

義使用承認基準には適合しているが、単独の医療法人主催であることと地区医師会が名義後援を行っていること等もあり、本会としては名義後援を見送ることとなった。

3. 1/17(木)九州厚生局及び県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会について

6医療機関を対象に行われる新規の個別指導で、小牧常任理事を中心に、担当理事の中から人選して立会人を派遣することが承認された。

4. 厚生功労に係る平成31年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について

医師会の役員歴を対象とした厚生功労で、各郡市医師会に照会の結果、1名の申請があり、県医師会として推薦することが承認された。

5. 九州ブロック日医代議員連絡会議(6月1日(土)鹿児島市)における日医各種委員会の報告希望委員会について

出席する日医代議員(河野会長、濱田・山村両副会長、吉田常任理事)及び役員で、希望する委員会がある場合には、河野会長に申し出ることとなった。

6. JMAT研修統括JMAT編(福岡県・兵庫県)の開催のご案内について

医療支援活動の充実に資することを目的に、福岡県医師会館(2/24)で開催される研修会で、救急災害医療担当役員で調整し出席することが承認された。

7. 平成30年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)の開催について

香川県高松市(1/25)に於いて開催される連絡会で、救急災害医療担当役員及び事務局で参加者を調整し出席することが承認された。

8. 平成30年度臨床検査精度管理調査報告会の開催について

臨床検査精度管理調査の分析・検討結果を踏まえ臨床検査の質的向上に資することを目的に開催される報告会で、県臨床検査技師会に人選を依頼することが承認された。

9. 1・2月の行事予定について

1月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/21(金)(県電ホール)県医療審議会について
3. 12/21(金)(県庁)県がん対策審議会について
4. 宮崎県医師会館電力供給に係る指名競争入札の結果について
5. 12/20(木)(JA-AZM) 社会保険医療担当者の個別指導について

6. 12/19(水)(ル・フェーヴ)広報委員会について

7. 12/20(木)(県医)医師会立看護学校担当理事連絡協議会について

8. その他

- ①名古屋大学の「あすけあいプロジェクト」について
- ②日本医療マネジメント学会第18回九州・山口連合大会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 12/19(水)(市民文化ホール)河野しゅんじ総決起大会について
2. 12/23(日)(河野しゅんじ選挙事務所)河野しゅんじ選挙対策本部開票速報会について

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣を貸し出しています～



心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を
2枚セット(無料)で貸し出します。

どうぞお気軽にご利用ください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ

(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>)

をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本・野尻

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

県 医 の 動 き

(1月)

4	新年賀詞交歓会(会長) 仕事始め式(会長)	20	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事) (日医)在宅医療関連講師人材養成事業研修会
5	県医師連盟執行委員会(河野委員長他) 三師会合同新春懇談会(会長他)	21	医師国保組合理事会(秦理事長他) 健康スポーツ医学委員会(濱田副会長他) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議に係る医療機関会議(金丸常任理事)
7	地域医療構想調整会議の進め方に関する協議会(会長他)	22	母体保護法指定医師審査委員会 (濱田副会長他) 県感染症対策審議会(高村常任理事) 県アイバンク協会寄付金贈呈式(会長) 第19回常任理事協議会(会長他)
8	治験審査委員会(荒木常任理事他) 第18回常任理事協議会(会長他)	23	広報委員会(荒木常任理事他)
9	助産師育成に関する意見交換会(濱田副会長) 支払基金幹事会(会長) 病院部会・医療法人部会合同理事会・新年会 (池井常任理事他)	24	(日医)日医学術推進会議(会長) (日医)日医小児在宅ケア検討委員会 (高村常任理事) 社会保険医療担当者(医科)の新規集団指導 新規保険医療機関への説明会(会長他)
10	(日医)日医医師会将来ビジョン委員会 (大塚理事) 高次脳機能障がい講演会(TV会議) (吉田常任理事他) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事)	25	(香川)全国メディカルコントロール協議会 連絡会(佐々木常任理事) 県外科医会理事会(岩村理事) 県地域医療構想調整会議(会長他)
11	県女性医師等キャリア支援連絡協議会 (荒木常任理事他) 広報委員会(荒木常任理事他) 宮崎市郡医師会新年例会並びにしののめ医学 会特別講演会(会長)	26	自賠責保険研修会(会長他) 県産婦人科医会冬期総会(嶋本理事)
12	日医生涯教育協力講座セミナー(TV会議) (会長他)	27	(日医)小児在宅医療に関する人材養成講習会 (高村常任理事)
15	県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 (石川常任理事) (日医)都道府県医師会長協議会(会長) (日医)日医連執行委員会(河野委員長他) 医家芸術展世話人会(濱田副会長他)	28	医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (TV会議)(石川常任理事)
16	新人看護職員研修推進協議会 (佐々木常任理事) 健康スポーツ医学セミナー(濱田副会長他)	29	医協理事会(河野理事長他) 第14回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 各郡市医師会長協議会(会長他)
17	社会保険医療担当者の新規個別指導 (大塚理事) 宮大医学部医の倫理委員会(立元理事)	30	宮大経営協議会・学長選考会議(会長) 労災診療指導委員会(川野理事) 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 (池井常任理事)
18	(日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事) (日医)都道府県医師会女性医師支援・ドク ターバンク担当役職員連絡会(荒木常任理事) 労災部会自賠委員会(川野理事他) 損害保険医療協議会(川野理事他)	31	県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医 療事故調査支援委員会合同会議(会長他) 小児在宅医療についての打合せ会 (高村常任理事)
19	産業医研修会(TV会議)(佐々木常任理事)		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成31年 1 月 9 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 8人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	5	2	3
麻 酔 科	1	0	1
泌 尿 器 科	1	1	0
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 67人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 30 年 度	2	2	4
平成16年度から累計	48	19	67

3. 求人登録 96件 356人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	103	80	23	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	28	23	5	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	10	7	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	13	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	15	11	4	婦 人 科	2	2	0
眼 科	11	7	4	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	12	11	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	14	10	4
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	356	278	78

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神 内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮崎市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖尿内,心内	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	2	常勤・非常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成31年1月9日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡(251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 **ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyou@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成31年 1 月29日

2			月		
1	金	19:00 医師国保組合理事会事務監査 19:00 県肝炎対策懇話会	14	木	16:00 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 19:30 県産婦人科医会常任理事会
2	土	13:50 (鹿児島)九州各県医師会医療事故 調査制度担当理事連絡協議会 (鹿児島)地域包括ケアシステム対策協議会 13:50 (鹿児島)九医連常任委員会 16:00 (鹿児島)九医連各種協議会	15	金	10:00 (東京)地域医療構想アドバイザー会議 11:15 県国保連合会理事会 13:00 県国保連合会通常総会 13:00 県歯科保健推進協議会 14:00 (日医)都道府県医師会事務局長連絡会 18:30 更新時集団指導(TV会議)
3	日	13:00 日医医療秘書認定試験			
4	月	19:00 医療安全対策セミナー(TV会議)			
5	火	13:30 県社会福祉審議会 18:00 治験審査委員会 19:00 第20回常任理事協議会	16	土	15:30 (福岡)九州地区医師国保組合 連合会理事会 16:00 (福岡)九州地区医師国保組合 連合会全体協議会 16:00 病院部会・医療法人部会 医療従事者研修会
6	水	13:30 (東京)全国国保組合協会理事長・役員研修会 19:00 日医認定産業医制度関係小委員会			
7	木	13:30 社会保険医療担当者の個別指導 19:00 特定健康診査等従事者研修会(TV会議) 19:00 宮崎の医療を考える会(若手記 者と広報委員会との勉強会)	17	日	9:00 人体シミュレータを用いた 在宅医療研修会 13:00 (日医)日医母子保健講習会
			18	月	19:00 介護保険に関する主治医 研修会(TV会議)
8	金	10:00 県個人情報保護審議会 19:00 県外科医会冬期講演会	19	火	14:30 県がん診療連携協議会 19:00 第21回常任理事協議会
9	土	15:00 (福岡)九州学校検診協議会専門委員会 15:00 県産婦人科医会産後健診等に関する研修会 16:00 (長崎)日本プライマリ・ケア連 合学会九州支部役員会 16:40 県内医師会病院連絡協議会 17:00 (福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会	20	水	15:00 (日医)日医産業保健委員会 19:00 広報委員会
			21	木	15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19:00 医師国保組合理事会
			22	金	18:30 勤務医部会理事会 19:00 勤務医部会後期講演会
10	日	9:00 (長崎)日本プライマリ・ケア連 合学会九州支部総会	23	土	
11	月	(建国記念の日) 9:00 緩和ケアチーム研修会	24	日	9:00 (福岡)JMAT研修 統括JMAT編 14:00 創立130周年記念医学会・ 県民健康セミナー
12	火	19:00 県麻しん対策推進会議及び広域化検討会議	25	月	19:00 県医療勤務環境改善セミナー (TV会議)
13	水	13:00 認知症初期集中支援チーム情報交換会 13:00 (日医)日医医療政策シンポジウム2019 13:00 日医医療政策シンポジウム2019 (日医TV会議) 14:00 宮大医学部医の倫理委員会 15:00 県ナースセンター事業運営委員会 16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会	26	火	18:00 医協理事会 19:00 第15回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会
			27	水	14:00 地域医療現場における 働きやすい環境を考える会 15:00 労災診療指導委員会 15:30 宮崎産業保健総合支援センター運営協議会 19:00 医学会誌編集委員会
			28	木	14:00 宮大医学部認定再生医療等委員会

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成31年1月29日

3			月			
1	金	15:00 (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 18:30 県医師連盟執行委員会 19:00 各郡市医師会(連盟)役員等連絡協議会	16	土	12:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 13:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会 15:30 九州医師協同組合連合会購買・保険部会, 職員研修会	国 保 審 査
2	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 14:00 (東京)日医医療情報システム協議会 15:25 県産婦人科医会ひむかセミナー	17	日	8:30 九州医師協同組合連合会購買・保険部会, 職員研修会	
3	日	8:30 ACLS研修会 9:00 県産婦人科医会ひむかセミナー 10:00 (福岡)レジナビフェア 10:00 (東京)日医医療情報システム協議会	18	月		
4	月	18:15 公害健康被害認定審査会	19	火	14:00 県総合計画審議会専門部会	
5	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第22回常任理事協議会※予定	20	水	13:00 宮大経営協議会・学長選考会議 13:30 県防災会議	社 保 審 査
6	水	15:00 (日医)日医公衆衛生委員会	21	木		
7	木		22	金	14:30 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 19:00 広報委員会 19:00 向精神薬の長期処方に関する研修会(TV会議)	
8	金	15:00 (日医)日医医師会共同利用施設検討委員会 16:00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会(TV会議)	23	土	おぎゃー献金基金 チャリティーコンサート 19:00 県小児科医会役員会	
9	土	13:30 臨床検査精度管理調査報告会	24	日	医師国保組合歩こう会	医 家 芸 術 展
10	日	9:30 医師クラーク育成・スキルアップ研修会	25	月		
11	月		26	火	15:00 県地域医療対策協議会 19:00 第23回常任理事協議会※予定	
12	火	19:00 第4回理事会	27	水	15:00 労災診療指導委員会	
13	水	16:00 (日医)日医小児在宅ケア検討委員会 16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会	28	木		医 家 芸 術 展
14	木	19:00 医療機関経営セミナー(TV会議) 19:00 医師国保組合通常組合会 19:30 県産婦人科医会全理事会	29	金		
15	金	宮崎地方労働審議会 17:30 西諸医師会臨時総会 19:00 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 19:00 第1回宮崎県医師会災害医療研修会(TV会議)	30	土	15:30 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会試験委員会 15:45 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会 16:15 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員会	
※都合により, 変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	日	9:00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医臨時代議員会	

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数, CC：カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
西諸医師会・西諸 整形外科医会・西 諸内科医会合同学 術講演会 2月1日(金) 18:45～20:00 ガーデンベルズ小林	肩関節疾患の診断と人工関節の適応 鹿児島大学医歯学総合研究科 先端治療科学専攻 運動機能修復学講座整形外科学 教授 谷口 昇	61 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸整形外科医会 西諸内科医会 日本臓器製薬(株)
延岡医学会学術講 演会 2月1日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル延岡	心房細動とどうつきあっていくか 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 科長 足利 敬一	73 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ブリストル・マイヤーズスクイブ ファイザー(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
日本医療マネジメ ント学会第12回宮 崎県支部学術集会 2月2日(土) 9:30～16:30 都城市ウエルネス 交流プラザ 参加費 事前:2,500円 当日:3,000円	(10:35～11:35) 地域医療構想と地域包括ケアー地域連携の視点からー 産業医科大学医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉 ----- (11:45～12:30) 地域包括ケアシステム構築に必要な医科歯科連携 都城医療センター 歯科・口腔外科センター 医長 新屋 俊明 ----- (12:30～13:30) バラエティ現場から学ぶ! 究極の人材笑育成 放送作家 Wまこと ----- (13:40～14:40) 患者と医療者が協働する医療連携 認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子	9 (0.5) 12 (0.5) 10 (0.5) 4 (1.0) 4 (1.0)	◇主催 日本医療マネジメント学会 宮崎県支部 ◇後援 宮崎県医師会 都城市北諸県郡医師会 宮崎県歯科医師会 都城歯科医師会 都城市 他 (連絡先) 都城医療センター ☎0986-23-4111

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第139回宮崎県皮膚科懇話会／第22回日本臨床皮膚科医会宮崎県支部会 2月2日(土) 18:00～19:00 県立宮崎病院	医学教育と地域医療 宮崎大学医学部 皮膚科 医員 古結 英樹	4 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 (連絡先) たじり皮膚科医院 ☎0985-84-1110
西都市西児湯医師会学術講演会 2月4日(月) 19:00～20:30 西都市コミュニティセンター	在宅医療推進のPDCAサイクルをどう回すのか 一西都のニーズをどう拾い上げ、どのように推進・活性化していくのかー 三財病院 副院長 松本 英裕	12 (0.5) 13 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市 西都市西児湯内科医会 ◇後援 西都市社会福祉協議会 西都市北地区/南地区 地域包括支援センター
日向・東臼杵 リウマチフォーラム 2月6日(水) 18:50～20:15 ホテルベルフォート日向	RA治療におけるバイオ製剤の使い分け かいクリニック 院長 甲斐 睦章	8 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 プリストル・マイヤーズスクイブ㈱ 小野薬品工業(株)
宮崎県医師会産業医研修会 2月7日(木) 19:00～21:00 延岡看護専門学校	この1年間の産業保健の動向 一厚生労働省・報道発表資料と通達から一 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 生涯研修の更新研修会：2単位 矢崎 武	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年特定健康 診査等従事者研修 会【TV会議】 2月7日(木) 19:00～20:30 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 医長 松浦 広英	75 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
平成30年度宮崎市 うつ病等医療連携 システム推進事業 研修会 2月8日(金) 18:45～20:30 宮崎市保健所	医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント 筑波大学医学医療系臨床医学域 災害・地域精神医学 教授 高橋 祥友	70 (1.5)	◇主催 宮崎市 (連絡先) 宮崎市保健所健康支援課 ☎0985-29-5286
延岡医学会学術講 演会 2月8日(金) 19:00～21:00 マリエールオーク パイン延岡	超高齢社会におけるOAB治療戦略 原三信病院 泌尿器科 部長 武井 三根雄	65 (0.5) 66 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 キッセイ薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
平成30年度宮崎県 医師会緩和ケア チーム研修会 2月11日(月) 9:00～17:00 県医師会館	思春期・若年成人(AYA)のがん患者のことを学ぶ 一知っているようで知らないAYA世代が抱える課題と 必要な支援一 九州がんセンター緩和ケアチーム 大谷 弘行 他	4 (1.0) 5 (1.0) 10 (1.0) 12 (1.0) 13 (1.0) 80 (1.0) 81 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
南那珂医師会生涯 教育医学会 2月13日(水) 18:50～20:00 南那珂医師会館	南那珂地区における糖尿病性腎症重症化予防戦略 一糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の有用性も含め一 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展	11 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 田辺三菱製薬(株) 第一三共(株)
延岡医学会学術講 演会 2月13日(水) 19:00～20:30 エンシテイホテル 延岡	今、内科学研究がおもしろい。 宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅光	9 (0.5) 30 (0.5) 46 (0.5)	◇主催 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この1年間の産業保健の動向 ー厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 2月14日(木) 19:00～20:30 ホテルベルフォー ト日向	最近の腸疾患について ー慢性便秘・便秘型IBSを含めてー（仮） 宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液学分野 講師 山本 章二郎	53 (0.5) 54 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 アステラス製薬(株)
第10回在宅医療実 践のための多職種 協働研修会 2月14日(木) 19:00～20:00 県医師会館	病院から在宅へつなく連携ー支援体制を振り返るー 訪問看護事業所ナーシングセンター・オーシャン 管理者 看護師 宮崎ホームケアクリニック 院長 中村 真里 川崎 愛弥 長澤 伸二	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
西都市西児湯医師 会学術講演会 2月16日(土) 14:00～16:00 宮崎県立産業技術 専門学校	今日から始めよう！減量治療 光川内科医院 院長 光川 知宏 ----- 口から全身の健康づくり 中崎歯科医院 理事長 中崎 裕 ----- 人生を楽しむために ーくすりを知って正しく続けようー 西都病院 薬剤部 部長 脇田 和儀	11 (0.5) 82 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市 西都市西児湯内科医会 ◇後援 宮崎県医師会 西都児湯歯科医師会 西都地区薬剤師会 西都市社会福祉協議会 西都市北地区/南地区 地域包括支援センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡医師会園 医部会総会・講演会 2月16日(土) 16:00～17:30 宮崎市郡医師会館	未就学児の眼の病気 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 准教授 中馬 秀樹	11 (0.5) 36 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第182回宮崎県眼科 医会講習会 2月16日(土) 16:50～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	実録緑内障診断・治療 日本医科大学 眼科学教室 講師 中元 兼二 角膜炎の診療エッセンス 京都府立医科大学 感覚器未来医療学 教授 木下 茂	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
平成30年度介護保 険に関する主治医 研修会【TV会議】 2月18日(月) 19:00～22:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	生活期リハビリテーションー病院から在宅/施設へ“生 活に繋げる”リハビリテーションをどう考えるかー 宮崎大学医学部附属病院 宮崎市立田野病院コミュニティ・メディカルセンター リハビリテーション科 講師 黒木 洋美 他	6 (0.5) 10 (0.5) 12 (0.5) 13 (0.5) 19 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
西臼杵郡医師会学術講演会(肺がん検診) 2月20日(水) 19:00～20:10 ホテル高千穂	肺癌の診断と最新治療 宮崎県立延岡病院 呼吸器外科 医長 能勢 直弘	45 (1.0) (肺)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 プリストル・マイヤーズスクイブ 小野薬品工業(株)
向精神薬の長期処方に関する研修会 2月21日(木) 19:00～21:00 県医師会館	不眠症治療の光と影 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	20 (2.0)	◇主催 ※宮崎市医師会 ☎0985-53-3434
第16回宮崎GERD研究会(胃がん検診) 2月22日(金) 18:50～20:30 MRT-micc 参加費:500円	食道胃接合部癌とH. pylori陰性癌の病理 滋賀医科大学医学部 臨床検査医学講座 教授 九嶋 亮治	47 (0.5) 49 (0.5) (胃)	◇主催 宮崎GERD研究会 ◇共催 ※アストラゼネカ(株) ☎092-283-8150 第一三共(株)
南那珂地域医療連携懇話会(肺がん検診) 2月22日(金) 19:00～20:30 県立日南病院	県立日南病院における呼吸器・乳腺領域の取り組み 宮崎県立日南病院 副院長 市成 秀樹	12 (0.5)	◇主催 宮崎県立日南病院 ◇共催 ※協和発酵キリン(株) ☎0985-22-8801 ◇後援 南那珂医師会
	他 ----- 肺癌の診断と最新治療 宮崎県立延岡病院 呼吸器外科 医長 能勢 直弘	10 (0.5) 45 (0.5) (肺)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
平成30年度宮崎県 医師会勤務医部会 後期講演会 2月22日(金) 19:00～20:40 県医師会館	医師の働き方改革 田辺総合法律事務所 弁護士 三谷 和歌子	6 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会勤務医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	“血液がん”をとおしてみる抗がん薬治療の進歩 島根大学医学部附属病院・先端がん治療センター 教授 鈴宮 淳司	9 (0.5)	
プライマリ・ケア に役立つKAMPO 実践セミナー 2月23日(土) 18:00～19:30 KITEN	明日から使える漢方薬一症例から学ぶ痛みの治療戦略一 児玉整形外科クリニック 柳井谷 深志	60 (0.5) 61 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 宮崎県東洋医学会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
宮崎県医師会創立 130周年記念医学 会／宮崎県医師会 県民健康セミナー 2月24日(日) 14:00～16:40 県医師会館	お困りではありませんか？“頑固な便秘”や“便の漏れ”！ 潤和会記念病院 外科部長 佛坂 正幸	54 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	転んでも踏まれても立ち上がれ！ 宮崎大学教育・学生支援センター 特別教授 谷口 浩美	5 (0.5) 11 (0.5)	
第219回宮崎県泌 尿器科医会 2月28日(木) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル	体内時計から夜間頻尿を考える 一疫学・基礎の視点から一 筑波大学附属病院 腎泌尿外科 病院講師 根来 宏光	66 (0.5) 67 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 杏林製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
HIV・エイズ対策 講習会 3月2日(土) 14:00～16:00 宮崎市保健所	【専門医共通講習－②感染対策(必修)】※申請中 HIV診療の進歩と問題点(仮) 大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部・HIV・感染制御研究室 室長 渡邊 大	8 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県立宮崎病院 ※宮崎県健康増進課感染症対策室 ☎0985-44-2620
	【専門医共通講習－②感染対策(必修)】※申請中 症例提示 宮崎県立宮崎病院 院長 菊池 郁夫 内科医長 山中 篤志	8 (1.0)	
延岡医学会学術講 演会 3月8日(金) 19:00～20:45 エンシェイホテル 延岡	下部尿路症状の治療－プライマリーケア医による安全 な治療の進め方と専門医への紹介が必要なポイント－ 潤和会記念病院 泌尿器科 部長 月野 浩昌	1 (0.5) 65 (0.5) 67 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アステラス製薬(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第12回認知症サポ ート医・かかりつけ医 スキルアップ研修 会【TV会議】 3月8日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	認知症の症例 野崎病院 認知症疾患医療センター 倉増 亜紀 他	29 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 3月9日(土) 14:30～16:30 宮崎市郡医師会館	明るくやりがいのある職場を目指す働き方改革 一産業医冥利に尽きる健“幸”経営支援の2例を通して一 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 基礎研修の实地研修会：2単位 生涯研修の实地研修会：2単位	0 (0.5) 1 (0.5) 4 (0.5) 5 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第83回宮崎大学眼 科研究会 3月16日(土) 15:00～19:00 宮崎観光ホテル 参加費：2,000円	症例で学ぶ網脈絡膜循環疾患の病態と治療戦略 京都大学 医学研究科眼科学 教授 辻川 明孝 ----- 糖尿病網膜症治療アップデート 長崎大学 医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野 教授 北岡 隆	36 (1.0) ----- 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806
直井信久教授退任 記念講演会および 祝賀会 3月17日(日) 11:00～15:30 宮崎観光ホテル 参加費：20,000円	世界を視野に地域から 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 教授 直井 信久	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806
第5回宮崎大規模 災害リハビリテー ション支援関連団 体協議主催研修会 3月17日(日) 9:30～16:00 宮崎大学医学部総 合教育研究棟 参加費：1,000円	(9:50～11:20) 宮崎；南海トラフ地震が起こったら・・・宮崎の災害救 急医療体制の現状 宮崎大学医学部 病態解析医学講座救急・災害医学分野 教授 落合 秀信	14 (1.5)	◇主催 宮崎大規模災害リハビリ テーション支援関連団 体協議会(宮崎J R A T) ◇共催 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎RAバイオシ ミラーを考える会 3月20日(水) 19:30～20:30 KITEN	関節リウマチの薬物療法におけるバイオシミラーの位 置づけについて 名古屋医療センター 整形外科 医長 金子 敦史	60 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※あゆみ製薬(株) ☎0120-061-374
第60回宮崎県スポー ツ学会 3月30日(土) 15:00～19:00 県医師会館 参加費:1,000円	スポーツ傷害治療におけるリハビリテーションの役割 弘前大学医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授 津田 英一	10 (0.5) 56 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的: 県医師会から会員への情報提供(各種通知文書, 研修会の案内等)
対象: 会員本人, 医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用

目的: 会員同士の意見交換, 会員からの情報提供
対象: 会員本人のみ

災害が発生した場合, 情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先: 宮崎県医師会 学術広報課
TEL 0985-22-5158

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員名簿(医科)
(任期 2019年 1 月 1 日～ 2020年12月31日)

(○印は新任)

科 名	氏 名	科 名	氏 名
内 科	石 川 恵 美	外 科	上 田 祐 滋
〃	○ 遠 藤 豊	〃	甲 斐 眞 弘
〃	大 橋 剛	〃	後 藤 又 朗
〃 (東洋)	川 越 宏 文	〃	田 畑 直 人
〃	菊 池 郁 夫	〃	永 友 淳 司
〃	黒 木 和 男	〃	○ 日 高 秀 樹
〃	後 藤 敏 之	〃	丸 田 眞 一
〃	佐 藤 祐 二	〃	峯 一 彦
〃	鈴 木 斎 王	脳 神 経 外 科	上 原 久 生
〃	○ 瀬ノ口 洋 史	〃	大 田 元
〃	○ 西 川 清	心 臓 外 科	金 城 玉 洋
〃	姫 路 大 輔	〃	山 内 励
〃	松 尾 剛 志	皮 膚 科	津 守 伸一郎
〃	光 川 知 宏	〃	成 田 博 実
神 経 内 科	湊 誠一郎	泌 尿 器 科	○ 黒 岩 顕太郎
精 神 科	井 上 雅 文	〃	向 井 尚一郎
〃	堀 徹 也	産 婦 人 科	松 敬 文
小 児 科	西 口 俊 裕	〃	山 口 昌 俊
〃	四 元 茂	眼 科	中 崎 秀 二
整 形 外 科	阿久根 広 宣	〃	中 村 彰 伸
〃	税 所 幸一郎	耳 鼻 咽 喉 科	植 木 義 裕
〃	佐 藤 信 博	〃	鍋 倉 隆
〃	○ 松 岡 知 己	〃	春 田 厚

(五十音順)

診療メモ

古くて新しい『脂質異常症』の話
～心血管カテーテル治療医から見た脂質異常症診療～

宮崎市郡医師会病院 心臓病センター 循環器内科 まつ 松 うら 浦 ひろ 広 ひで 英

『一流の心臓病センターで経験を積み、一人前の心血管カテーテル治療医になりたい』と宮崎の地に赴任した。一心不乱に働いて、技術的に自信と余裕が出始めた頃に、立ち止まって考えた。生命危機に瀕した患者が目の前に現れる、全力で最善を尽くす。これだけで良いのか？急性冠症候群を『発症させない努力、再発させない努力』が足りないのではないか。『治療』のみでなく、『一次予防』『二次予防』にもっと力を注がなければと痛感していた。

時期を同じくして、冠動脈疾患の古くから知られる危険因子である『脂質異常症』について、新しい知見や動きが立て続けに生じた。脂質異常症診療の新たな常識、当院での取り組みについて、カテーテル治療医の視点から紹介したい。

急性冠症候群患者の脂質管理(二次予防)

古くは1994年から、心筋梗塞患者にスタチンを投与すると再発が抑制され、生命予後が改善するというランダム化比較試験のエビデンスがあり、『冠動脈疾患、脂質異常症、スタチン』に関しては、二次予防、一次予防、糖尿病合併例、ストロングスタチンの有用性という形で数多くのエビデンスが積み重ねられた。

時代は進み、『スタチンは冠動脈疾患患者にとって必須薬である』という常識を改めて強く認識し、『日常診療の見直し』を迫った出来事が、2017年に発表されたREAL-CAD試験であ

る。日本人の冠動脈疾患患者(約7割が急性冠症候群の既往あり)12,413人を、少量(1mg/日)ピタバスタチン(ストロングスタチンの一つ)群と最大量(4mg/日)ピタバスタチン群とに分け、予後(心血管死、非致死的心筋梗塞、非致死の脳卒中、緊急入院を要する不安定狭心症)を比較したもので、過去・世界最大の症例数でアジア初の証明となる試験である。この試験からのメッセージは、『日本人冠動脈疾患患者においては、二次予防として高用量(保険承認最大量)のストロングスタチンが望まれる』である。当院では、この試験を契機に、急性冠症候群の患者では全例、二次予防に最大量のストロングスタチンを処方することとなった(それまではストロングスタチンでも処方量が少量であった)。

更に、動脈硬化性疾患予防ガイドライン(2017年版)では、急性冠症候群の目標LDL-Cコントロール値は<70mg/dlと提唱されたことから、前述のスタチンのみでは目標達成できない際は、スタチンに上乗せで予後を改善することが報告されたエゼチミブを追加し、それでも目標達成不可の際は、同様に予後改善が証明されたPCSK9阻害薬の追加を行う院内統一プロトコールで対応する方針とした。

明快なプロトコールにしたことで、以前と比べて短期間でLDL-Cの管理が成功することが経験されている。スタチンの肝障害、CK上昇、

筋肉痛などの副作用に対しては、ストロングスタチン3種類(ピタバスタチン、アトルバスタチン、ロスバスタチン)を中心に代替することで対応し、ほとんど問題なく対処可能である。

急性冠症候群患者に潜む家族性高コレステロール血症を見逃さない

遺伝的に生来からLDL-Cが高値である『家族性高コレステロール血症』の患者は冠動脈疾患の発症リスクが20倍であることが1938年に報告された。その原因遺伝子として、LDL受容体(LDLR)、アポリポ蛋白B (APOB)について、第3の遺伝子PCSK9が2003年に報告された。PCSK9発現が高い家系の患者は冠動脈疾患リスクが高く、逆も真であることが順次報告され、急ピッチで創薬が進んで、2016年には日本でも2種類のPCSK9阻害薬(アリロクマブとエボロクマブ)が販売され、強力なLDL-C低下作用とそれぞれODYSSEY OUTCOMES試験、FOURIER試験というアウトカム試験で予後を改善することが示され、コントロール目標達成不可の患者に処方されるようになっていく。これらの試験では、LDL-Cが治療群でそれぞれ53.3mg/dl や30mg/dlまでコントロールされ、予後が更に改善されたことから、これまで示されてきた他剤と同様に、介入試験におけるLDL-Cの『The lower, the better』が再認識された。

PCSK9阻害薬の出現に伴って、改めて見直されている『家族性高コレステロール血症』であるが、見逃し(underdiagnosis)と治療不十分(undertreatment)が問題である。当院のデータからも急性冠症候群患者のうち約7%程度が、受診時のLDL-C $\geq$ 180mg/dlであり、家族歴の聴取、身体所見(黄色腫、アキレス腱肥厚)などから、家族性高コレステロール血症の患者を見逃さない努力を始めている。診断された際は、厳重にLDL-Cをコントロールすること(二次予防であれば<70mg/dl、一次予防であれば

<100mg/dl)も当然ながら、家族スクリーニングを行い、その他の家族メンバーの発症予防も意識している。

一次予防について

冠動脈疾患既往例では厳重なLDL-C管理が必須である反面、低リスク群の一次予防については不要な薬剤介入をせず生活習慣改善に努めることも重要であり、一次予防について、各患者の目標LDL-C値を知るには日本動脈硬化学会の冠動脈疾患発症予測アプリ(Web版: http://www.j-athero.org/publications/gl2017app/workers/check_top.html)が便利であり、患者の目の前で調べて、患者自身に目標LDL-C値を自覚して貰うようにしている。

切り札としてのPCSK9阻害薬：患者ごとに”目標LDL-C値”を意識する

PCSK9阻害薬は強力なLDL-C低下作用を持つ魅力的な薬剤であるが、高価でもある。生涯にわたり累積するLDL-C値が冠動脈疾患の発症と関連するという『生涯累積LDL-C』概念に示される通り、基本的には継続が望ましい薬剤であり、生活習慣改善+内服薬で目標LDL-C値が到達できない際に追加することになる。患者、主治医双方が、生活習慣改善と薬剤介入で最大限努力を払っても、LDL-Cの十分なコントロールがつかない際に、納得して開始し継続することが肝要である。

お知らせ

第19回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展を宮崎県立美術館にて開催いたします。

昨年は1,495名の皆様にご来場いただき、毎回大変ご好評をいただいています。

今回は下記の日程で開催しますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：3月27日(水)～31日(日) 10時～18時(31日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館2F 県民ギャラリー

(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：絵画、写真、書道

出 展 者：宮崎県医師会会員・ご家族（高校生以上）

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 医家芸術展事務局

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

■ 絵画部門

新木 るり (日南市)	安藤 宣 (西都市)	石川 万佐子 (宮崎市)
内田 攻 (宮崎市)	大塚 早智 (宮崎市)	押川 千賀子 (宮崎市)
黒川 基樹 (宮崎市)	酒井 和彦 (都城市)	酒井 美絵子 (都城市)
竹村 龍之助 (宮崎市)	谷口 二郎 (宮崎市)	谷口 浩子 (都城市)
長沼 弘三郎 (延岡市)	藤木 浩 (宮崎市)	淵脇 和男 (都城市)
政所 治道 (都城市)		

■ 写真部門

井ノ口 晶子 (宮崎市)	井ノ口 信子 (宮崎市)	井ノ口麻利子 (宮崎市)
押川 紘一郎 (宮崎市)	川野 啓一郎 (宮崎市)	木佐貫 冬星 (宮崎市)
楠元 正輝 (宮崎市)	桑原 淑子 (小林市)	酒井 桂子 (都城市)
佐々木 究 (宮崎市)	末岡 常昌 (延岡市)	竹尾 康男 (宮崎市)
田崎 高伸 (宮崎市)	田中 宏幸 (宮崎市)	谷口 二郎 (宮崎市)
西村 篤乃 (宮崎市)	林 紘臣 (宮崎市)	原 政樹 (国富町)
藤浦 富子 (日南市)	藤木 美津子 (宮崎市)	松浦 良樹 (宮崎市)
丸田 茂徳 (都城市)	丸田 英夫 (宮崎市)	丸田 眞美 (宮崎市)
康田 明照 (日向市)	山路 健 (都城市)	

■ 書道部門

大迫 文子 (宮崎市)	岡村 公子 (延岡市)	尾上 孝子 (宮崎市)
田畑 直人 (宮崎市)	山内 励 (宮崎市)	弓削 三重子 (宮崎市)
吉山 登志子 (都城市)		

(敬称略・各部門50音順・平成31年1月28日現在)

日本医師・従業員 国民年金基金

のご案内

◆お知らせ◆

当基金は平成31年(2019年)4月1日に合併により「全国国民年金基金」となります。
当基金では、「全国国民年金基金 日本医師・従業員支部」としてこれまでと同様のサービスを提供いたします。
住所、電話番号もそのまま業務を継続いたします。

「豊かな老後」へのプレゼント



日本医師・従業員国民年金基金(設立母体・日本医師会)は、国民年金に加入されている医療従事者が国民年金に上乗せする「公的な年金」です。
掛金の全額が社会保険料控除の対象となり、所得税、住民税が軽減され、さらに受取る年金にも公的年金等控除が適用されます。

加入資格

- 満20歳以上60歳未満の方。国民年金第1号被保険者
- 医療に従事している医師および従業員(家族従業員も対象)
- 地域型基金等の他の国民年金基金に加入していない方

掛 金

- 掛金の払込は60歳まで。掛金(加入時年齢による)の上限は月額68,000円

加入コース

- A型とB型。自由な組み合わせが可能

年金受取

- 65歳01月支給開始。終身年金
- 年金額は加入口数とその掛金の納付期間等により決定

遺族一時金

- A型(受給前)→ 加入時年齢、死亡時年齢および死亡時までの掛金納付期間に応じた額(受給後)→ 80歳までの残りの保証期間の年金原資に相当する額
※遺族一時金の額は、払い込み掛金額を下回ることがあります。
- B型 → 遺族一時金なし

中途脱退

- 任意脱退はできない
- 他の公的年金に加入・廃業等の場合、脱退となる
- 中途脱退しても65歳より掛金に応じた年金を支給

税 制 上 の 優 待 措 置

- 掛金は全額社会保険料控除の対象(最高816,000円が控除)
- 受取る年金にも公的年金等控除が適用

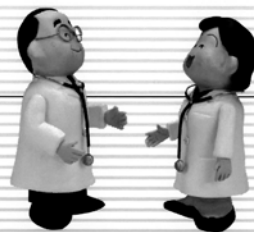
税理士のご紹介で
ご加入されている方が
増えております

*日本医師会年金(医師年金)に加入している方でも、当基金の年金に加入できます。
*お手伝いをされているご家族や一般従業員の方も、加入できます。

60歳以上の方も加入可能です!

60歳以上の国民年金の「任意加入者」で医療に従事している医師および従業員(家族従業員含む)の方が対象となります。掛金の払込は最長65歳まで。

現在、基金に加入中であっても継続にはなりませんので、新たに「新規加入」の申し込みが必要となります。



お問合せは下記の基金事務所へどうぞ

日本医師・従業員国民年金基金

フリーダイヤル ☎ 0120-700650
FAX 03-5976-2210

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-6-12 マグノリアビル2F

こちらから検索いただけます

日本医師従業員 検索 0120-700650 検索

ホームページ <http://www.jmpnpf.or.jp>

設立母体 日本医師会

宮大医学部学生のページ



部活動紹介～卓球部～

宮崎大学医学部医学科4年 ^さ坂 ^ぐ口 ^たけ ^ひ彦

今回縁あって、この医学部生のページに、部活動紹介について執筆させていただくことになりました。私は卓球部に所属しており、8月までキャプテンを務めていました。

私の個人的な見解ですが、医学部の部活動はかなりタフなところがあると思います。朝8時40分から16時20分まで授業があった後、多くの部活動ではそこから練習を始め、およそ20時頃まで練習しています。それに加えて休日は、他大との交流戦や公式戦、飲み会などイベントが盛りだくさんです。さらに(なぜか医学部なのに)、インターハイ出場経験者や国体代表選手が各部活にすることがあり、練習そのものも活気にあふれています。卓球部も例外ではなく、私自身、練習後は疲れて寝てしまうことが多い日々でした。一方で、4年生の夏には乗り越えなければいけないものがたくさんありました。学業面ではCBT、OSCE、臨床科目の試験が続きます。西日本医科学学生総合体育大会(西医体)はその時期にちょうど重なっていました。特に

4年生での西医体は幹部学年ということもあり特別なものがあります。私も含め多くの同級生はこの夏、練習と勉強の両立に非常に苦労したと思います。

さて、ここからは私の所属する卓球部について紹介させていただきます。卓球部は男女医学



科・看護科合わせて23人で、週3回練習しています。初心者も経験者も在籍しており、経験者でも小学生からしている人から中学で1年間だけしていた人まで様々です。さらに今年も初心者が入部してくれて、近年の卓球人気の影響を感じます。我が卓球部では、本年度の九州山口医科学学生体育大会優勝、前年度の西医体3位など近年誇れる成績を上げることができていますが、練習では初心者から経験者まで男女も合同で練習しています。これは私の代から取り入れている練習法です。勉強と同じように、卓球も人に教えることで自分自身が学ぶことが多くあり、それによって全員のレベルアップを図り、より部員の親交を深めることができると考えています。

私の代で掲げた目標はただ一つ、「西医体団体戦優勝」でした。医学部の運動部であれば誰もが憧れる目標だと思います。卓球部では、西医体の団体戦に出場できる選手は6人と限られていますが、ベンチからの応援やアドバイスなど部員全員で戦います。また、卓球の特徴として個人戦シングルス、ダブルスには全員が出られるため、全員が主役になります。

この目標を達成するため、この夏休みは卓球部での3日間の練習と1日休みのサイクルと、休みの日の自主練習で実質ほぼ毎日練習をしました。卓球部の西医体はCBTの4日前であり、不安もありましたが、自分がキャプテンの代で

優勝したいという思いが強くなり、練習は毎日参加しました。部員のみんなもよくついてきてくれたと感謝しています。そして結果として、男子団体戦優勝、私自身の成績としても個人戦シングルス、ダブルス優勝と最高の結果を残すことができました。4年生の部員の多くは会場に勉強道具を持って行きましたが、いざ大会が始まるとそれどころではなく実際はほとんど手を付けませんでした。

西医体が終わると、余韻に浸る間もなく勉強漬けの毎日でした。しかし不思議とこの転換はスムーズにできました。部活動に全力で取り組んだからこそ、後腐れなく勉強できるものだなと感じました。卓球部では4年生の西医体が終わると引退という扱いにはなりますが、多くの先輩方が引退後も練習に参加されていて、私自身もそうしています。それは卓球というスポーツが好きだからであり、実習の息抜きとしても卓球部は温かく受け入れてくれるからです。臨床実習も始まり自分は先導する立場ではなくなりましたが、後輩たちが自分たちの姿をみて、これからの部活を盛り上げていってくれることを期待しています。

最後になりましたが、宮崎大学医学部で日々部活動に励むことができるのも、OB・OGの皆様のご支援があってこそであり、心より感謝しております。今後とも温かく見守っていただければ幸いです。



お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)にお問い合わせください。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
12月4日	・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向に関する研究に対する協力について ・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について ・乾燥BCGワクチン(経皮用・1人用)を使用する結核にかかる定期の予防接種について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
12月5日	・介護医療院の基準省令改正について(11月29日付) ・「平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成30年度)への再協力依頼について」の送付について ・病院の業務継続計画(BCP)の策定状況等の調査への協力について ・准看護師教育の到達目標に関する調査について ・厚生労働省共済組合員証の無効について ・「保険者番号等の設定について」及び「診療報酬請求書等の記載要領等について」等の一部改正について ・高齢者に係る高額療養費制度の見直し等について ・抗PCSK9抗体製剤(プラルエント皮下注)に係る最適使用推進ガイドラインの一部改正に伴う留意事項の一部改正について
12月6日	・総合診療専門研修プログラム整備基準に基づく特任指導医候補の推薦について ・「病原微生物検出情報」の送付について
12月10日	・毎月勤労統計調査(第二種事業所)への調査協力依頼について ・日本准看護師連絡協議会研修会について ・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・「平成30年7月豪雨等による被災に伴う診療報酬等の特別措置による対応状況について(アンケート)」の協力依頼について
12月11日	・平成30年度医療施設経営安定化推進事業アンケート調査へのご協力をお願い
12月12日	・風しんの届出数の増加が認められる7都府県における風しん対策等について ・平成30年度がん教育外部講師研修会・シンポジウムについて ・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について
12月14日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・「医療安全管理者の業務実態および研修に対するニーズ」Web調査について
12月17日	・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)愛称決定について ・一般財団法人医療関連サービス振興会「第28回シンポジウム」ご案内の送付について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・デュルバルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(非小細胞肺癌)の一部改正について ・ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(非小細胞肺癌、悪性黒色腫、頭頸部癌、腎細胞癌、古典的ホジキンリンパ腫、胃癌及び悪性胸膜中皮腫)の一部改正について ・検査料の点数の取扱いについて ・材料価格基準の一部改正等について ・サリルマブ製剤(銘柄名：ケブザラ皮下注150mgシリンジ等)の在宅自己注射について

送付日	文 書 名
12月18日	・再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則及び臨床研究法施行規則の一部を改正する省令の公布について ・降積雪期における防災態勢の強化等について ・「医師からの事故情報受付窓口」の周知について
12月19日	・精神保健指定医の新規申請等に係る事務取扱要領の制定について
12月21日	・平成31年度介護報酬改定について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・平成30年度大分県医師会母体保護法指定医師研修会の開催について ・妊婦加算の取扱いについて ・抗インフルエンザウイルス薬の使用上の注意に関する注意喚起の徹底について
12月25日	・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・平成30年度 厚生労働省事業「遠隔医療従事者研修」開催のご案内 ・平成30年度遠隔医療従事者研修のご案内について ・年末年始の海外渡航者に対する感染症予防啓発について ・「予防接種に関するアンケート調査」の実施について ・風しん診断事例におけるウイルス遺伝子検査について ・ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について ・日本看護学校協議会認定「教務主任養成講習会」について ・サリドマイド製剤、レナリドミド製剤及びボマリドミド製剤の使用に当たっての安全管理手順の改訂について ・「使用上の注意」の改訂について ・「宮崎県多言語コールセンター」の周知について
12月28日	・消費税率変更に伴う特定健康診査及び特定保健指導の費用に係る留意事項について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・「医療安全管理者の業務実態および研修に対するニーズ」Web調査について(期間延長) ・衛生検査所指導要領の正誤表の送付について ・病院又は診療所間において検体検査の業務を委託及び受託する場合の留意点について ・医療機関、衛生検査所等における検体検査に関する疑義解釈資料(Q&A)の送付について ・医師法施行規則等の一部を改正する省令について(免許申請書様式関係) ・医療法人設立認可一覧・医療法人解散認可一覧(平成30年12月26日認可) ・刑務共済組合組合員証の無効について(通知) ・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・平成28年熊本地震に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について ・ベンダムスチン塩酸塩製剤の保険請求上の取扱いについて ・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について ・妊婦加算の取扱いについて
1 月 4 日	・「平成30年度治験推進地域連絡会議」の開催について ・美容医療サービス等の自由診療におけるインフォームド・コンセントの取り扱い等の徹底(依頼)について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No145」の提供について

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	c	a, b	b, c	c	a	d	c, e	c	e

あとかき



昨年の11月から大学病院にて、学生看護業務補助者(SNA: Student Nursing Assistant)のアルバイトを始めました。医学科・看護学科の学生が募集の対象で、夜間(19:00～23:00)に看護師さんの手が回りきらない簡単な仕事を行い、業務がスムーズにいくようにするのが仕事です。主に病棟全体の清掃、包交車や診察室の器具揃え、氷枕の交換、薬剤部に薬を取りに行く、入院

の環境下で落ち着かない患者さんと消灯までお話するなどの業務をしています。この仕事を通して様々な医療器具の名前が自然と頭に入ってくる他、通常学生は関わらない時間の患者さんの過ごし方、看護師さんやクラークさんの多様かつ細かな業務...、学生が帰った後も24時間現場が動いていることを目の当たりにします。将来医療の道に進む者として、ぜひたくさんの方にこの仕事を体験してほしいと感じます(まだまだ募集中のようです!)。貴重な経験といえはこの広報委員会も同じです。この2年間を通して様々な方々の文章や話題に触れ、広報委員の先生・事務の方と作業し、各報道機関の記者さんとお話しし、普通では得られなかったであろう知識や価値観を養うことにつながってきたと思います。先日は大学病院の先生から「今も医師会の広報委員続けているの?いつも楽しみにしてるよ」とお声掛けをいただきました。広報委員も上述したSNAと同じように「裏方」の仕事です。その裏の仕事こそが支えているものがあり、それにより喜んでくださる人がいることが分かりました。これから1年間、卒業試験や医師国家試験に向けて勉強に集中する日々が始まります。その先に進めたときに、裏の仕事を厭わず進んで行い、またその仕事をする人に敬意を払えるような自分でいられるように心がけていきたいと思っています。この3月で学生広報委員としての任期が終わります。2年間お世話になりました。また別の現場で、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(泉)

* * * * *

毎年、小戸神社のどんと焼きに参加しています。どんと焼きとは小正月に、松飾りやしめ縄、書き初めなどを集めて燃やし、無病息災や五穀豊穰を祈る伝統行事です。夕方に杵と臼で餅をつき、日が暮れてから神事が始まります。昔ながらの方法での火起こしから、どんと焼きへの点火までを見学した後、炎に照らされた幻想的な雰囲気の中、長い竹の棒にさした餅をどんと焼きの炎で炙り、振る舞いのぜんざいに入れて食べます。今年も家族そろって無病息災、そして災害のない年であるよう祈念してきました。今年もいい一年でありますように。(稲倉)

* * *

昨年、サッカーチームのトリニータ大分がJ1へ昇格しました。6年ぶりのJ1復帰だそうです。別にトリニータのファンではないので、それがうれしいわけではなく、今年から大分でJ1の試合が行われることを喜んでます。イニエスタやポドルフスキーを擁するビッセル神戸との試合が大分で行われるということです。電車一本で彼らの試合が観戦できるのであれば、なんとか都合をつけて一度は行きたいものです。(沖田)

* * *

気分転換のツールとして、最近AbemaTVを見っております。「NewsBAR橋下」は橋下徹元大阪府知事が各業界からホットなゲストを迎えて時事ネタ論争を繰り広げる番組です。社会情勢に疎い自分としては、とても勉強になります。半年前から始まった「ドラゴン堀江」は、東大合格を本気で目指す番組です。今まで数々の東大合格を謳ったTV番組がありましたが、今回はどうでしょうか? AbemaTVは見たいときに見れるのでとても便利です。皆さんもご視聴あれ!(植田)

* * *

今年のゴールデンウィークは10連休だ。土曜日が仕事の私たちは9連休なのだが...新人社員や大学の新入生など、新生活がスタートしてたった1か月での10連休。五月病になるのか、休みを満喫してリフレッシュできるのか大事だ。普段できないことができる機会であり、長期旅行をする人もいだろう。しかし、仕事を9日間もしないというのはどうだろうか?計画を立てて有意義な連休にしたいと思っているが、果たしてどうなることやら。(山崎)

* * *

1月14日からテニスの全豪オープン本選が始まっており、毎日アツい試合が繰り広げられています。「BIG4」と呼ばれる、10年弱に渡ってトップを牽引してきた選手達の中には、今季での引退を宣言する者、4回戦で20歳の新星に敗れる者もあり、目が離せない大会です。また、1月22日の錦織選手の試合は、5時間超のフルセットで、タイブレークの最後の最後で逆転をする展開で感動しました。負けそうになっても、諦めずに食らいつく姿勢は見習わなければいけないと思いました。大会もいよいよ大詰め、各選手の手に汗握る闘いを楽しみつつ応援したいと思います。(伊澤)

* * *

正月休みは北海道のスキー場で過ごしました。ホテルの宿泊客の約8割が韓国、中国、東南アジア、オーストラリアからの旅行者でした。ホテル側の話によると、外国人旅行者がけがをしったり病気になれば地元の公立病院や開業医が適切に対応するそうですが、それでも意思疎通がうまくいかなかったり、支払いが滞る問題が時々あるそうです。国としても外国人が安心して医療を受けられるように体制整備を進めており、調べてみるとすでに多くの医療機関が認証されています。(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 勤務環境改善支援センターと医師の働き方改革

医師の働き方改革について各機関で議論が進んでいます、いずれ意見をまとめ、結論を出す時が来るのでしょうか、非常に難しい問題だと思います。その難しい問題の現状を池井義彦常任理事に解説いただきました。31ページ目には医療勤務環境改善支援センターの広告もあります。

4 ページ

新春随想 (その2)

いろいろな科のいろいろな年代の先生にいろいろ思うところを書いていただきました。いろいろな考え方に触れることができました。亥年の先生達は元気で、パワフルな印象があります、文章からもそれが伝わってきました。

6 ページ

診療メモ 古くて新しい『脂質異常症』の話 ～心血管カテーテル治療医から見た脂質異常症診療～

宮崎市郡医師会病院の松浦広英先生に、「古くて新しい『脂質異常症』の話」と題し、脂質異常症の新たな常識、医師会病院での取り組みについて解説していただきました。治療前の一次予防、二次予防の大事さについて書かれています。

66ページ

日 州 医 事 第834号(平成31年2月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也、野村 勝政
委 員 沖田 和久、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)
